

石川県立歴史博物館

年 報

第19号
平成28年度版

発行にあたって

平成 28 年度は、当館の開館 30 周年を迎え、リニューアルオープンした前年度に引き続き当館にとって記念すべき年でした。これにあわせて当館の活動は、開館 30 周年を記念した秋季特別展をはじめとした 3 つの特別展と 3 つの企画展を中心としたものとなりました。春季特別展「加賀・能登 王墓の世界」では、石川県内で古代に築かれた多数の古墳に注目し、副葬品を一堂に会して加賀国・能登国の成立に至る地域の動きを紹介しました。夏季特別展「セラミックス・ジャパン—陶磁器でたどる日本のモダン—」では、近代以降の日本の陶磁器をデザインの視点から捉え、地元の九谷焼の資料も展示して「ものづくり」の流れをたどりました。また、秋季特別展「城下町金沢は大にぎわい！」では、城下町金沢の娯楽やにぎわいをテーマに、寺社のご開帳や歌舞伎・浄瑠璃の展示のほか、歌舞伎や「さるまわし」の実演などの関連イベントも充実し、好評を得ました。さらに、特別展にあわせて開催している「石川の歴史遺産セミナー」は、特別展に関連したテーマを様々な視点から検証することによって石川県の歴史や文化をさらに深めるものとなり、2 回とも多数の参加者があり、盛況でした。

また、ワークショップなどのイベントもさらに多彩なものとなり、より幅広い世代の方々に楽しんでもらえる内容となりました。あわせてギャラリーでの展示や催し物も充実し、今後もリニューアルのコンセプトである「誰もが楽しく学べる博物館」「ゆったりとくつろげ、交流を育む博物館」「人に優しい博物館」の実現と発展に向けて、より一層努力を重ねていきたいと考えています。

ここに、平成 28 年度の年報を発行するにあたり、これまでご協力を賜りました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

目 次

基本構想・利用案内	2	2. 職員名簿	52
		3. 予算及び決算	52
I. 平成 28 年度の事業		4. 事務分掌	53
1. 展示活動	3	5. 各種委員会	54
2. 調査研究活動	36	6. 入場料について	55
3. 資料収集保存活動	37		
4. 教育普及活動	40	IV. 関連条例・規則	
5. 入館状況	46	1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例	56
		2. 石川県立歴史博物館管理規則	56
II. 施設概要		3. 石川県立歴史博物館使用料条例	58
1. 設備概要	47	4. 石川県立歴史博物館使用料施行規則	58
2. 各棟面積一覧	49		
3. 館内平面図	50	V. 日記（抄）	60
III. 組織と運営		VI. 各種書式	62
1. 職員組織	52		

基本構想

石川の歴史と文化を正しく、楽しく学習する拠点施設としての機能を充実するとともに、より多くの県民の方々や観光客に訪れて頂けるよう、国指定重要文化財としての建物の魅力や本多の森公園の立地環境を生かしながら、周辺施設と連携協力し、親しみやすく利用しやすい博物館とする。

(1) 誰もが楽しく学べる博物館

訪れるたびに新鮮な驚きと発見／感動があり、楽しく学べるとともに、探求心を育む博物館を目指す。

(2) ゆったりとくつろげ、交流を育む博物館

フリーゾーンを新設し、誰もが気軽に立ち寄り、本多の森公園の緑や国指定文化財の赤レンガ建物が持つ落ち着いた雰囲気の中でゆったりくつろぎ、様々な交流が生まれる博物館を目指す。

(3) 人に優しい博物館

様々な人々が快適に利用できる博物館、石川の歴史や文化に関する資料を大切に保管し、未来へと伝える博物館を目指す。

利用案内

開館時間 9:00～17:00 (入館は16:30まで)

休館日 年末年始(12月29日～1月3日)、資料の展示替え・整理の期間

観覧料 常設展 個人 一般300円、大学生240円、高校生以下無料、65歳以上240円
団体(20人以上) 一般240円、大学生190円

加賀本多博物館との共通券(常設展のみ) 一般500円、大学生400円

特別展 その都度変わる。

交通案内 徒歩／兼六園から約3分

バス／北陸鉄道バス出羽町下車徒歩約5分

広坂・21世紀美術館下車徒歩約8分

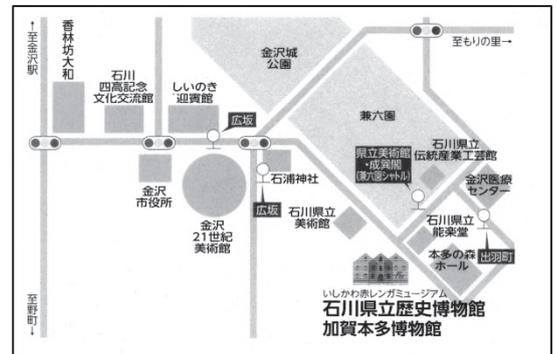
タクシー／JR金沢駅から約10～15分

自動車／北陸自動車道

金沢西IC・森本ICから約10～30分

駐車場 50台(無料)

所在地 石川県金沢市出羽町3-1



I. 平成 28 年度の事業

1. 展示活動

(1) 常設展示

「石川県の歴史と文化」をテーマとした総合展示。実物資料のほかジオラマや模型、モニターや大型スクリーンによる映像、パネルなどを駆使し、分かりやすく紹介している。ポイントとなる模型や展示資料は4ヶ国語の音声ガイドによって解説を加え、学習効果を高めている。



導入映像

第1展示室

[導入映像] (展示室入口)

現代から過去へ、映像がフラッシュバックしながら、各時代を代表する出来事を交えて石川の歴史を紹介している。

I 豊かな自然となりわい

狩猟採集から米作りへ 豊かな大地に育まれた太古の暮らしを探る

1 森と海に生きる縄文人

- 縄文人の祈りと造形
- 謎の巨大木柱
- 気候変動と狩りの変化
- よみがえる縄文犬
- 海のなりわい
- 森のなりわい
- 漆工芸のはじまり

2 米作りと農耕社会の成立

- 水田稲作の伝来
- 弥生集落の風景
- 倭国大乱の時代
- 玉作りと鉄器の流通



「よみがえる縄文犬」復元品

II 日本海を行き交う人びと

東アジアに広がる交流、日本海が醸し出す文化 加賀・能登の国の始まりを見つめる

1 日本海交流と東アジア

- 古墳の出現
- 加賀・能登の古墳と豪族
- 須曾蝦夷穴古墳と渡来文化
- 東アジアとの交流
- 渤海使と古代の湊
- 海を渡ってきたモノたち



蝦夷穴古墳模型

- 2 能登国・加賀国の誕生
 - 律令制と地域社会
 - 加賀郡榜示札と農民の暮らし



古代の御触書「加賀郡榜示札」

III 武士と一揆

武家政権の成立から加賀の一向一揆へ
くり返される戦乱の時代を生きた人びとの姿に迫る

- 1 武士の世へ
 - 源平争乱と白山宮
 - 堅田館跡
 - 荘園と海のネットワーク
 - 荘園のひろがり
 - 珠洲焼



「堅田館一鎌倉時代の加賀有力武士の館」模型

2 信仰の世界

- 加賀・能登の神と仏
- 新仏教の受容と展開
- 時宗
- 白山信仰
- 禅宗
- 石動山
- 日蓮宗

3 一揆の時代

- 能登畠山氏と七尾
- 戦国末期の能登情勢
- 加賀の一向一揆百年
- 大坂本願寺合戦と北陸
- 能登畠山氏
- 百姓ノ持タル国
- 長享の一揆
- 一向一揆の終局
- 七尾城下の繁栄
- 真宗のおこり
- 金沢御堂と寺内町
- 古文書にふれてみよう

IV 加賀藩の政治と文化

戦国の世から前田家の治世へ 安定した社会の中で育まれた文化生活の諸相をひもとく

- 天下人の時代

1 加賀藩の成立

- 加賀前田家と江戸幕府
- 藩士の身分
- 改作法と村御印
- 学問と教育
- 金沢城

2 加賀藩政の展開

- 城下町金沢
- 金沢町人のくらしと文化
- 北前船と加賀・能登



「大名行列が行く」大型パネル

- 3 幕末の加賀藩
- 藩財政の立て直し
 - 村々の生活
 - 飢饉と災害
 - 海防と銃卒
 - 幕末の混乱と加賀藩



城下町金沢の暮らしと町並み模型

第2展示室

V 近代国家と石川県

石川県の誕生、そして激動の時代へ
近代化の道のりと人びとの生活の変化をたどる

[近現代導入映像] (展示室入口)

1 武士の近代

- 石川県の誕生
- 「百万石」の武士から士族へ
- 紀尾井町事件
- 屯田兵と前田村

2 「美術工業」の時代

- 銅器会社と円中孫平
- 輸出工業
- 吉之助と米次郎
- 博覧会と博物館

3 日清・日露戦争と県民

- 日清戦争と兵士
- 日露戦争と県民
- ロシア軍捕虜の生活
- 北陸線と金沢駅
- 背囊を持ってみよう

4 特別名勝「兼六園」

5 デモクラシーとモダン

- 静かな米騒動
- 普通選挙と青年党
- モダニズムと大衆文化

6 戦争の時代と民衆

- 空襲をまぬがれた戦争
- 戦地と兵士
- 七七禁令と代用品
- 戦争と人びとの祈り
- 満蒙開拓の光と影

7 復興と成長の日々

- 占領・引揚・復興
- 内灘闘争
- 高度成長から安定成長の時代へ
- 戦後の住宅政策と石川県



紀尾井町事件映像



特別名勝「兼六園」模型

VI 加賀・能登の祭り

神と人がひとつになる厳粛な世界 心浮き立つ勇壮華麗な世界
祭り文化の多様性を見つめる



神饌模型展示

1 神と人の饗宴

○県内の特色ある祭り料理[神饌]をテーマに展示している。

◇一宮の神饌

■例大祭・夕御饌祭 ■平国祭

◇豊作への祈り

■ふきのと祭り ■もっそう祭り ■十七夜祭り ■いどり祭り
■おけら祭り

◇生贄伝説の世界

■如月祭 ■叩き堂祭り ■青柏祭 ■小串祭り
■春祭り ■大幡郷社祭り ■鯖踊り神事 ■弓引き祭り
■猿鬼の遺品

2 祭礼風流の世界

○曳山や鉾・屋台・造り物・練り物など華やかな出し物をテーマに祭礼遺産を更新しながら展示している。

◇いしかわの祭礼風流

■高松の長行灯 ■青柏祭
■金沢の曳山 ■近江町の大行灯
■お旅祭り ■華やかな祭礼練り物
■キリコ祭り ■加賀・能登の地芝居
■片町の絵行灯飾り ■先触れ面

◇城下の祭礼と興行

■ハレの飾り ■ハレのガイドブック
■幻の大祭 ■金沢の祭礼能
■祭礼と興行 ■踊り唄の出版
■百万石祭りの源流 ■金沢の獅子舞
■軍隊・学校・会社の祝祭



祭礼体感シアター

◇祭礼体感シアター

(2) その他の施設

第1棟 歴史発見館

1階 休憩室・姉妹館交流コーナー

当館と韓国国立全州博物館の姉妹館交流について紹介している。

2階 特別展示室

自主企画展示のほか、話題性のある魅力的な大型展示を積極的に誘致する。

企画展示室

歴史博物館が所蔵する優品やコレクション、さらには常設展を補うテーマ性の高い内容を定期的に更新しながら展示する。

第2棟 交流体験館

1階 いしかわウェルカムラウンジ

総合案内・発券

ミュージアムショップ

歴史博物館のオリジナルグッズなどを販売する。

建物 100年ギャラリー

歴史博物館の建物である旧陸軍兵器庫兵器支廠について、建築当時やその後の保存修復などの写真を中心に、その歴史と重要文化財としての価値、魅力を紹介している。また、大きな窓ガラスからは、第3棟のレンガ壁や辰巳用水モニュメントを見渡すことができる。



いしかわウェルカムラウンジ

兼六園周辺文化の森模型

兼六園周辺に多数ある文化施設の情報や見どころを紹介し、周辺への回遊を促す。また、兼六園周辺の空撮写真や古地図から、地域の変遷を学習することができる。



兼六園周辺文化の森模型

石川歴史・観光マップ（タッチモニター）

もっと知りたい石川クイズ、石川県の観光情報、石川県の文化財の3つのコンテンツからなる。

なりきりショット

スクリーンに写しだされた絵画や古写真に画像に自身の顔を合成して、カメラで撮影して来館の記念にできる。

石川大パノラマ

大正～昭和前期にかけて全国各地の鳥瞰図を描いた吉田初三郎（1884～1955）が、石川県から依頼されて1933（昭和8）年に描いた「石川県鳥瞰図」を紹介。地図の中から21か所のポイントを選び、詳しい説明を加える。

1階 れきはくロビー

ミュージアムシアター

「金沢城下町を歩く」と題した映像番組を放映。加賀藩と城下町金沢の成立、城下町金沢の構造と特色、そして館蔵品の「金沢城下図屏風」を紹介する。また、期間限定で特別展などに合わせた映像作品などを放映する。



ミュージアムシアター

ギャラリー

一般県民の皆様が展示活動に利用できる貸スペース。

2階 歴史体験ひろば・多目的ホール

実物資料や模型資料に直接触れ、また使ってみることによって、歴史の面白さを味わうことのできる体験コーナー。幼児から大人まで、幅広い年齢層が楽しむことができる。

また、多目的ホールとして、講演会やセミナー、ミニコンサートなどの行事を開催する。

主な体験メニュー

- ・昔の衣装体験—十二単の貴婦人、甲冑武士、武家のお姫様など
- ・昔の遊び体験—貝合わせ、盤双六、羽つきなど
- ・昔の乗り物で記念撮影—人力車、駕籠
- ・歴史資料に触れる体験—石器、土器、小判、十手など
- ・山の民家—囲炉裏、石臼、蓑笠、燭台など
- ・昔の学校—椅子、机、黒板、教科書、参考書など
- ・未就学児向け歴史体験(ひよこのひろば)—はにわボウリング、歴史まも当てなど



歴史体験ひろば

情報コーナー

歴史博物館の所蔵資料に関する情報（実物資料・文献資料・画像など）を提供。また、閲覧室や学習相談室としても活用することができる。

ワークショップルーム

実技講座をはじめ研究会・講習会・展示説明会など、幅広い年齢層の人びとが参加できる行事を開催している。

ほっとサロン

庭園の景色や建物の外観を眺めながら、ゆったりとくつろげる休憩コーナー。



ほっとサロン

(3) 特別展

春季特別展

リニューアルオープン1周年記念
「加賀・能登王墓の世界」

石川県には約 3000 基の古墳が存在し、古代には加賀・能登の各地に有力な豪族が割拠していたことが知られています。この展覧会では、県内の古墳から出土した豪華な副葬品や埴輪を一堂に展示し、個性豊かな古代文化が開いた加賀・能登の国の始まりを紹介しました。



チラシ

会 期 平成 28 年 4 月 16 日 (土) ～5 月 22 日 (日) 会期中無休

時 間 9 : 00～17 : 00 (展示室への入室は 16 : 30 まで)

観 覧 料 《春季特別展のみ》

一般 700 円 (560 円)、大学生 560 円 (450 円)、高校生以下無料

《春季特別展と常設展のセット料金》

一般 800 円、大学生 640 円、高校生以下無料

※ () 内は 20 名以上の団体料金、65 歳以上は団体料金

会 場 特別展示室

展示構成 古墳の出現と王権の確立、東アジアの激動と変革の時代、加賀国・能登国の胎動

催 物

記念講演会 (聴講無料・申込不要)

「ヤマト政権の推移と加賀・能登の古墳時代」

日 時 : 4 月 23 日 (土) 13:30～15:00

講 師 : 大阪大学大学院教授

福永 伸哉 氏

会 場 : ワークショップルーム

聴講者 : 86 名

れきはくゼミナール (聴講無料・申込不要)

「副葬品にみる加賀・能登の古墳時代」

日 時 : 5 月 7 日 (土) 13:30～15:00

講 師 : 三浦 俊明 (当館学芸主任)

会 場 : ワークショップルーム

聴講者 : 69 名

ミュージアムウィーク講演会 (聴講無料・要申込)

「『かが・のと』オススメの古墳めぐり」

日 時 : 5 月 3 日 (火・祝) 13:30～15:00

講 師 : 帽子作家・イラストレーター

スソアキコ 氏

聞き手 : 当館学芸員

会 場 : ワークショップルーム

聴講者 : 102 名

展示解説 (要観覧料・申込不要)

日 時 : 4 月 16 日 (土)・30 日 (土)・

5 月 15 日 (日) 13:30～14:30

参加者 : 4 月 16 日 : 23 名、30 日 : 32 名

5 月 15 日 : 43 名

古墳ウォーク「能美古墳群を歩く」

(参加無料・要申込)

日 時 : 5 月 14 日 (土) 13:00～15:00

参加者 : 21 名

ワークショップ「卑弥呼の鏡を作ってみよう！」

(参加無料・申込不要)

日時：5月4日(水・祝) 13:00~15:00

会場：ワークショップルーム

参加者：54人(20組)

子ども向け体験「古墳のナゾをとときあかそう！」

①スツアキコさんオリジナルのワークシート

②王のひつぎを組み立てよう！

③王の宝パズルにチャレンジ！

④王の宝・埴輪にふれてみよう！

⑤古代人に変身！

(衣装体験は土・日・祝日の10~16時)

会場：企画展示室



展示風景



展示風景



記念講演会



展示解説



古墳ウォーク



子ども向け体験

春季特別展 出品資料一覧

●=重要文化財

番号	資料名	点数	出土遺跡	所蔵
1. 古墳の出現と王権の確立				
1	鉄刀		能美市寺井山6号墓	能美市教育委員会
2	鉄剣	1	能美市寺井山6号墓	能美市教育委員会
3	鉄鏃	1	能美市寺井山6号墓	能美市教育委員会
4	土師器 壺	1	野々市市御経塚シンデン1号墳	野々市市教育委員会
5	土師器 高坏	1	野々市市御経塚シンデン4号墳	野々市市教育委員会
6	土師器 壺	2	野々市市御経塚シンデン10号墳	野々市市教育委員会
7	方格規矩鏡	1	宝達志水町宿東山1号墳	石川県埋蔵文化財センター
8	方格規矩鏡 復元品	1	宝達志水町宿東山1号墳	石川県埋蔵文化財センター
9	方格規矩鏡	1	加賀市分校前山1号墳	加賀市教育委員会
10	碧玉製管玉	7	加賀市分校前山1号墳	加賀市教育委員会
11	鉄槍	1	加賀市分校前山1号墳	加賀市教育委員会
12	鉄斧	1	加賀市分校前山1号墳	加賀市教育委員会
13	鉄鉞	1	加賀市分校前山1号墳	加賀市教育委員会
14	内行花文鏡	1	金沢市神谷内12号墳	金沢市教育委員会
15	碧玉製管玉	2	金沢市神谷内12号墳	金沢市教育委員会
16	鉄製刀子	1	金沢市神谷内12号墳	金沢市教育委員会
17	鉄斧	1	金沢市神谷内12号墳	金沢市教育委員会
18	土師器 壺	1	金沢市神谷内12号墳	金沢市教育委員会
19	土師器 小型壺	1	金沢市神谷内12号墳	金沢市教育委員会
20	土師器 器台	1	金沢市神谷内12号墳	金沢市教育委員会
21	土師器 高坏	1	金沢市神谷内12号墳	金沢市教育委員会
22	ガラス小玉	8	金沢市神谷内17号墳	金沢市教育委員会
23	鉄刀	1	金沢市神谷内17号墳	金沢市教育委員会
24	鉄鏃	1	金沢市神谷内17号墳	金沢市教育委員会
25	鉄製刀子	1	金沢市神谷内17号墳	金沢市教育委員会
26	鉄斧	1	金沢市神谷内17号墳	金沢市教育委員会
27	鉄鉞	1	金沢市神谷内17号墳	金沢市教育委員会
28	珠文鏡	1	金沢市神谷内18号墳	金沢市教育委員会
29	木製脚付容器	1	小松市千代・能美遺跡	石川県埋蔵文化財センター
30	装飾木製品	1	小松市千代・能美遺跡	石川県埋蔵文化財センター
31	剣形木製品	2	小松市千代・能美遺跡	石川県埋蔵文化財センター
32	船材(堅板)	1	小松市千代・能美遺跡	石川県埋蔵文化財センター
33	儀杖形木製品	1	金沢市畝田遺跡	石川県埋蔵文化財センター
34	団扇形木製品	1	金沢市中屋サワ遺跡	金沢市教育委員会
35	土師器 甕	1	七尾市万行遺跡	七尾市教育委員会
36	土師器 壺	1	七尾市万行遺跡	七尾市教育委員会
37	弥生土器 器台	1	七尾市万行遺跡	七尾市教育委員会
38	弥生土器 高坏	1	七尾市万行遺跡	七尾市教育委員会
39	夔鳳鏡	1	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
40	翡翠製勾玉	1	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
41	碧玉製管玉	10	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
42	銅鏃	10	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
43	鉄刀	1	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
44	鉄剣	2	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
45	鉄槍	1	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
46	鉄鏃	4	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
47	鉄斧	2	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
48	鉄鉞	1	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
49	鉄製ヤス	1	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
50	土師器 器台	1	七尾市国分尼塚1号墳	七尾市教育委員会
51	仿製鏡	1	七尾市国分尼塚2号墳	七尾市教育委員会
52	碧玉製管玉	20	七尾市国分尼塚2号墳	七尾市教育委員会
53	●神獣鏡	1	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会
54	●車輪石	4	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会

番号	資料名	点数	出土遺跡	所蔵
55	●石釧	14	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会
56	●琴柱形石製品	1	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会
57	●碧玉製管玉	14	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会
58	●方形板革綴短甲	1	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会
59	●銅鏃	10	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会
60	●鉄刀	1	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会
61	●鉄剣	3	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会
62	●鉄鏃	10	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会
63	●鉄斧	1	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会
64	●鉄製鍬鋤先	1	中能登町雨の宮1号墳	中能登町教育委員会
65	三角縁神獣鏡 複製	1	中能登町小田中親玉塚古墳	当館 (原品: 白久志山御祖神社)
66	鍬形石 複製	1	中能登町小田中	当館 (原品: 宮内庁書陵部)
67	土師器 高坏	3	能美市秋常山1号墳	能美市教育委員会
68	碧玉製管玉未成品	37	加賀市片山津玉造遺跡	小松市立博物館
69	碧玉製管玉未成品	4	加賀市片山津玉造遺跡	加賀市教育委員会
70	石製品未成品	2	加賀市片山津玉造遺跡	小松市立博物館
71	石製品未成品	2	加賀市片山津玉造遺跡	加賀市教育委員会
72	石製品未成品	1	加賀市富塚遺跡	石川県埋蔵文化財センター
73	鍬形石未成品	1	加賀市片山津城山遺跡	小松市立博物館
74	石製品未成品	7	加賀市片山津城山遺跡	小松市立博物館
75	砥石	2	加賀市片山津城山遺跡	小松市立博物館
76	石製品未成品	8	金沢市畝田・寺中遺跡	金沢市教育委員会
77	碧玉製管玉	21	加賀市分校高山古墳	加賀市教育委員会
78	鍬形石	1	伝岐阜県	福井県立歴史博物館
79	ゴホウラ貝輪 復元品	4		北條芳隆氏
2. 東アジアの激動と変革の時代				
80	円筒埴輪	5	羽咋市滝大塚古墳	羽咋市教育委員会
81	円筒埴輪	1	金沢市長坂二子塚古墳	当館
82	壺形埴輪	1	金沢市長坂二子塚古墳	当館
83	翡翠製勾玉	1	金沢市長坂古墳群	当館
84	鉄剣	1	金沢市小坂1号墳	当館
85	鉄鏃	2	金沢市小坂1号墳	当館
86	銚状鉄器	3	金沢市小坂1号墳	当館
87	長方形革綴短甲	1	羽咋市柴垣円山1号墳	本成寺
88	豎矧板鋌留眉庇付冑	1	能美市和田山5号墳	能美市教育委員会
89	三角板鋌留短甲	1	能美市和田山5号墳	能美市教育委員会
90	頸甲	1	能美市和田山5号墳	能美市教育委員会
91	鉄刀	1	能美市和田山5号墳	能美市教育委員会
92	鉄剣	1	能美市和田山5号墳	能美市教育委員会
93	鉄槍	1	能美市和田山5号墳	能美市教育委員会
94	鉄矛	1	能美市和田山5号墳	能美市教育委員会
95	鉄鏃	一括	能美市和田山5号墳	能美市教育委員会
96	鉄斧	2	能美市和田山5号墳	能美市教育委員会
97	鉄鎌	1	能美市和田山5号墳	能美市教育委員会
98	鉄製鍬鋤先	1	能美市和田山5号墳	能美市教育委員会
99	画文帯神獣鏡	1	加賀市狐山古墳	東京国立博物館
100	銀製帯金具	一括	加賀市狐山古墳	東京国立博物館
101	銀製帯金具 復元品	1	加賀市狐山古墳	東京国立博物館
102	銅鈴	2	加賀市狐山古墳	東京国立博物館
103	横矧板鋌留衝角付冑	1	加賀市狐山古墳	東京国立博物館
104	横矧板鋌留短甲	1	加賀市狐山古墳	東京国立博物館
105	円筒埴輪	1	加賀市二子塚古墳群	東京国立博物館
106	盾持ち人物埴輪	1	加賀市二子塚古墳群	東京国立博物館
107	金製耳環	2	加賀市吸坂丸山5号墳	加賀市教育委員会
108	横矧板鋌留衝角付冑	1	加賀市吸坂丸山5号墳	加賀市教育委員会
109	鍔	1	加賀市吸坂丸山5号墳	加賀市教育委員会
110	肩甲	1	加賀市吸坂丸山5号墳	加賀市教育委員会

番号	資料名	点数	出土遺跡	所蔵
111	鉄矛	1	加賀市吸坂丸山5号墳	加賀市教育委員会
112	円筒埴輪	1	加賀市吸坂丸山5号墳	加賀市教育委員会
113	人物埴輪	3	加賀市吸坂丸山5号墳	加賀市教育委員会
114	横矧板鉾留短甲	1	小松市八里向山F7号墳	小松市埋蔵文化財センター
115	三葉文環頭大刀	1	能美市下開菟茶臼山7号墳	能美市教育委員会
116	金銅製冠 復元品	1	福井県二本松山古墳	福井県立歴史博物館（原品：東京国立博物館）
117	金製垂飾付耳飾	2	福井県天神山7号墳	福井市立郷土歴史博物館
118	画文帯神獸鏡 複製	1	愛知県大須二子山古墳	当館（原品：南山大学人類学博物館）
119	羽口	1	羽咋市四柳ミッコ遺跡	石川県埋蔵文化財センター
120	高坏転用羽口	1	羽咋市四柳ミッコ遺跡	石川県埋蔵文化財センター
121	鉄滓	1	羽咋市四柳ミッコ遺跡	石川県埋蔵文化財センター
122	須恵器 甕	1	羽咋市四柳ミッコ遺跡	石川県埋蔵文化財センター
123	須恵器 高坏	1	羽咋市四柳ミッコ遺跡	石川県埋蔵文化財センター
124	須恵器 坏蓋	1	羽咋市四柳ミッコ遺跡	石川県埋蔵文化財センター
125	有孔円板	3	羽咋市四柳ミッコ遺跡	石川県埋蔵文化財センター
126	剣形石製模造品	1	羽咋市四柳ミッコ遺跡	石川県埋蔵文化財センター
127	滑石製管玉	2	羽咋市四柳ミッコ遺跡	石川県埋蔵文化財センター
128	滑石製白玉	34	羽咋市四柳ミッコ遺跡	石川県埋蔵文化財センター
129	竈形土製品	1	志賀町高田遺跡	志賀町教育委員会
130	土師器 甕	1	志賀町高田遺跡	志賀町教育委員会
131	土師器 壺	1	志賀町高田遺跡	志賀町教育委員会
132	土師器 高坏	1	志賀町高田遺跡	志賀町教育委員会
133	手捏土器	6	志賀町高田遺跡	志賀町教育委員会
134	須恵器 坏蓋	1	志賀町高田遺跡	志賀町教育委員会
135	陶製紡錘車	1	志賀町高田遺跡	志賀町教育委員会
136	子持勾玉	2	志賀町高田遺跡	志賀町教育委員会
137	製塩土器	5	七尾市小島西遺跡	石川県埋蔵文化財センター
138	子持勾玉	2	七尾市小島西遺跡	石川県埋蔵文化財センター
139	瓦質土器 高坏蓋	1	七尾市矢田遺跡	七尾市教育委員会
140	瓦質土器 甕	4	七尾市矢田遺跡	七尾市教育委員会
141	須恵器 蓋坏	8	小松市二ツ梨東山4号窯跡	小松市埋蔵文化財センター
142	須恵器 脚付壺	1	能美市和田山23号墳	能美市教育委員会
143	須恵器 筒形器台	1	能美市和田山23号墳	能美市教育委員会
144	刻書須恵器 高坏	1	能美市和田山23号墳	能美市教育委員会
145	刻書須恵器 壺	1	能美市和田山23号墳	能美市教育委員会
3. 加賀国・能登国の胎動				
146	鉄刀	2	羽咋市滝3号墳	羽咋市教育委員会
147	鉄鏃	5	羽咋市滝3号墳	羽咋市教育委員会
148	楕円形鏡板付轡	1	羽咋市滝3号墳	羽咋市教育委員会
149	鈴杏葉	3	羽咋市滝3号墳	羽咋市教育委員会
150	辻金具	5	羽咋市滝3号墳	羽咋市教育委員会
151	須恵器 壺	1	羽咋市滝3号墳	羽咋市教育委員会
152	須恵器 器台	1	羽咋市滝3号墳	羽咋市教育委員会
153	須恵器 甕	1	羽咋市滝3号墳	羽咋市教育委員会
154	心葉形杏葉	2	羽咋市柳田山伏山1号墳	羽咋市教育委員会
155	革金具	7	羽咋市柳田山伏山1号墳	羽咋市教育委員会
156	鉸具	2	羽咋市柳田山伏山1号墳	羽咋市教育委員会
157	鈴鏡	1	能美市和田山1号墳	京都国立博物館
158	神獸鏡	1	能美市和田山2号墳	京都国立博物館
159	鈴付銅釧	1	能美市和田山2号墳	京都国立博物館
160	剣菱形杏葉	3	能美市和田山2号墳	京都国立博物館
161	碧玉製管玉	23	能美市和田山1・2号墳	京都国立博物館
162	須恵器 壺	1	小松市葦輪塚古墳	小松市立博物館
163	須恵器 短頸壺	2	小松市葦輪塚古墳	小松市立博物館
164	須恵器 甕	1	小松市葦輪塚古墳	小松市立博物館
165	須恵器 提瓶	1	小松市葦輪塚古墳	小松市立博物館

番号	資料名	点数	出土遺跡	所蔵
166	須恵器 平底瓶	1	小松市葺輪塚古墳	小松市立博物館
167	須恵器 蓋坏	2	小松市葺輪塚古墳	小松市立博物館
168	須恵器 蓋坏	1	能美市寺井山3号墳	個人
169	須恵器 樽形甗	1	小松市矢田借屋10号墳	小松市埋蔵文化財センター
170	須恵器 器台	1	小松市矢田借屋12号墳	小松市埋蔵文化財センター
171	円筒埴輪	1	小松市矢田借屋12号墳	小松市埋蔵文化財センター
172	須恵器 鈴付高坏	1	小松市矢田野エジリ古墳	小松市埋蔵文化財センター
173	●円筒埴輪	2	小松市矢田野エジリ古墳	小松市埋蔵文化財センター
174	●朝顔形円筒埴輪	1	小松市矢田野エジリ古墳	小松市埋蔵文化財センター
175	●人物埴輪 袈裟衣の女子	1	小松市矢田野エジリ古墳	小松市埋蔵文化財センター
176	●人物埴輪 飾り帽子の男子	1	小松市矢田野エジリ古墳	小松市埋蔵文化財センター
177	●人物埴輪 刀子を佩びる人	1	小松市矢田野エジリ古墳	小松市埋蔵文化財センター
178	●人物埴輪 跪座の男子	1	小松市矢田野エジリ古墳	小松市埋蔵文化財センター
179	●人物埴輪 右手を挙げる男子	1	小松市矢田野エジリ古墳	小松市埋蔵文化財センター
180	●人物埴輪 騎乗の男子	1	小松市矢田野エジリ古墳	小松市埋蔵文化財センター
181	●馬形埴輪	1	小松市矢田野エジリ古墳	小松市埋蔵文化財センター
182	人物埴輪	2	宝達志水町大海川河口	金沢大学資料館
183	円筒埴輪	6	小松市二ツ梨殿様池窯跡	小松市埋蔵文化財センター
184	鳥形埴輪	3	小松市二ツ梨殿様池窯跡	小松市埋蔵文化財センター
185	双龍文環頭大刀	1	穴水町袖ヶ畑古墳	前田育徳会
186	双龍文環頭大刀	1	中能登町曾禰1号墳	東京国立博物館
187	双鳳文環頭大刀	1	珠洲市大島4号墳	竹内虎吉氏
188	銅鉞	1	中能登町高島経塚古墳	東京国立博物館
189	柄孔鉄斧	1	七尾市須曾蝦夷穴古墳	七尾市教育委員会
190	須恵器 無頸双耳壺	1	加賀市法皇山4号横穴墓	加賀市教育委員会
191	須恵器 台付長頸壺	1	加賀市法皇山5号横穴墓	加賀市教育委員会
192	須恵器 平瓶	1	加賀市法皇山5号横穴墓	加賀市教育委員会
193	須恵器 高坏	2	加賀市法皇山5号横穴墓	加賀市教育委員会
194	須恵器 坏身	1	加賀市法皇山5号横穴墓	加賀市教育委員会
195	須恵器 横瓶	1	加賀市法皇山22号横穴墓	加賀市教育委員会
196	鉄刀	1	珠洲市岩坂向林1号横穴墓	珠洲市教育委員会
197	鉄製鏝	1	珠洲市岩坂向林2号横穴墓	珠洲市教育委員会
198	鉄鏝	4	珠洲市岩坂向林2号横穴墓	珠洲市教育委員会
199	須恵器 大甕	1	珠洲市岩坂向林2号横穴墓	珠洲市教育委員会
200	須恵器 提瓶	1	珠洲市岩坂向林2号横穴墓	珠洲市教育委員会
201	須恵器 平瓶	1	珠洲市岩坂向林2号横穴墓	珠洲市教育委員会
202	須恵器 高坏	1	珠洲市岩坂向林2号横穴墓	珠洲市教育委員会
203	須恵器 蓋坏	1	珠洲市岩坂向林2号横穴墓	珠洲市教育委員会
204	須恵器 甕	1	珠洲市岩坂向林5号横穴墓	珠洲市教育委員会
205	須恵器 子持台付長頸壺	1	珠洲市谷崎横穴墓群	珠洲市教育委員会
206	耳環	5	輪島市稲舟8号横穴墓	輪島市教育委員会
207	瑪瑙製勾玉	1	輪島市稲舟8号横穴墓	輪島市教育委員会
208	水晶製切子玉	2	輪島市稲舟8号横穴墓	輪島市教育委員会
209	ガラス小玉・丸玉	一括	輪島市稲舟8号横穴墓	輪島市教育委員会

夏季特別展
「セラミックス・ジャパン
陶磁器でたどる日本のモダン」

本展は、近代日本で作られた陶磁器のデザインを概観する初めての展覧会として開催した。

幕末から明治時代初期にかけて、万国博覧会への出展をきっかけに浮世絵や工芸品などの日本美術が注目され、西洋ではジャポニスム(日本趣味)がわき起こった。陶磁器の分野では、江戸時代から続く産地の京都や九谷はもとより、東京や横浜、名古屋などでも、日本の伝統的な意匠をまとった製品が大量に作られ、海外へ輸出された。

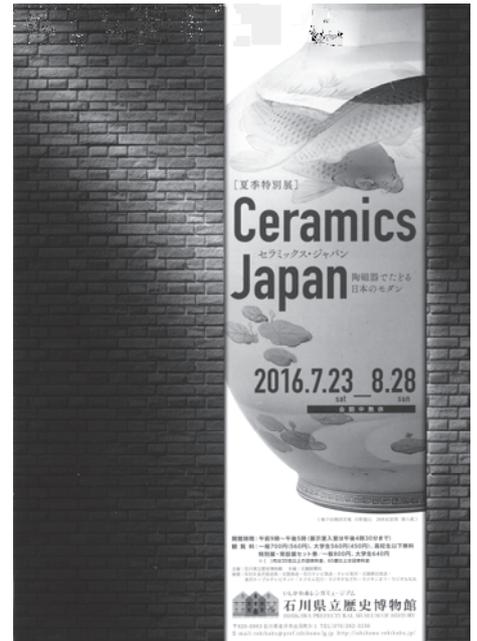
しばらくしてジャポニスムは衰退するが、その後アール・ヌーヴォーが大流行し、日本でもこの影響を受け、明治時代後期には陶磁器製作における図案研究が盛んになった。大正時代以降は、こうしたデザイン運動が広く展開され、制作者の個性が大きく反映されていった。

また社会生活の近代化にともなって、生活用品としての陶磁器にも新たなデザインが求められるようになり、デザイナーや陶芸家がそれに応えるようになった。陶磁器メーカーでは国内外の製品が量産され、食器以外にもタイルなどの建材も生産された。

これまでの近代の陶磁史は、輸出産業の隆盛を経て、新たに陶芸家が登場する筋道を紹介することが一般的だった。そして今日まで連綿と続いてきた産業陶磁や、陶芸家によるデザイン的な作品の流れが紹介されることは、ほとんどなかった。

本展は、明治から戦前までの約70年間を一つの区切りとし、この間に生み出された陶磁器の魅力あふれるデザインに焦点をあてて、その全容を紹介した。

また本展に続く特設コーナーでは、九谷焼を産地別(金沢、能美、江沼)に貴重な作品を展示した。



チラシ

会 期	平成 28 年 7 月 23 日 (土) ~ 8 月 28 日 (日) ※会期中無休
時 間	9:00~17:00 (入館は 16:30 まで)
入 館 料	《夏季特別展のみ》 一 般 700 円 (560 円)、大学生 560 円 (450 円)、高校生以下無料 《夏季特別展と常設展のセット料金》 一 般 800 円、大学生 640 円 ※()内は 20 名以上の団体料金、65 歳以上は団体料金
会 場	特別展示室 企画展示室
展示構成	I 近代化の歩み / II 産地の動向 / III 発展・展開 / IV 終章 / 石川会場特設コーナー

催 物

記念講演会（聴講無料・申込不要）

「デザインありてこそ—焼物から窯業へ」

日 時：7月30日（土）13:30～

講 師：本展監修者 金沢美術工芸大学
柳宗理記念デザイン研究所
森 仁史 氏

会 場：当館ワークショップルーム

聴講者：30名

いしかわの歴史遺産セミナー

（聴講無料、要申込）

「金 沢であえて[工芸]を問う」

日 時：8月6日（土）13:00～

会 場：当館ワークショップルーム

聴講者：64名

展示解説（要観覧料・申込不要）

日 時：7月23日（土）

講 師：森 仁史 氏

会 場：当館特別展示室・企画展示室

参加者：27名

会 場：当館ほっとサロン

日 時：8月7日（日）・27日（土）

講 師：当館学芸員

会 場：当館特別展示室・企画展示室

参加者：8月7日：25名、27日：20名

ワークショップ「器づくり体験」

（参加費無料・要申込・小中学生対象）

日 時：7月28日（木）

講 師：根石 和美 氏（ルチザンセラミックファクトリー）
岸田 寛生 氏（ルチザンセラミックファクトリー）

会 場：当館ワークショップルーム

参加者：30名（保護者を含む）

ワークショップ「九谷焼絵付け体験」

（参加費無料・要申込・小中学生対象）

日 時：8月9日（火）13:00～15:00

講 師：高島 敏彦 氏（野村右園堂 伝統工芸士）

会 場：当館ワークショップルーム

参加者：40名（保護者を含む）

ワークショップ「紅茶—明治・大正・昭和

日本の紅茶をめぐる歴史物語—

（要申込・一般対象）

日 時：8月16日（火）12日（水）14:00～

講 師：紅茶教室「ティーアトリエ
Silver Tips」

主宰 島田 枝里 氏

参加者：19名



展示風景



展示風景



展示風景



展示風景



講演会



展示解説



展示解説



ワークショップ「器づくり体験」



ワークショップ「九谷焼絵付け体験」



ワークショップ「紅茶教室—明治・大正・昭和
日本の紅茶をめぐる歴史物語—」

出品資料一覧

番号	資料名	制作者	制作年	法量(単位はcm)				所蔵
				高	幅	奥行		
1章 近代化の歩み								
1	上絵金彩武者図花瓶	東京錦窯 月圃画	1873(明治6)	40.3	14.4	14.4		個人
2	上絵金彩山水図皿	瓢池園 千積石翠画	1881(明治14)	3.3	19.9	19.9		岐阜県現代陶芸美術館
3	上絵金彩風景図皿	錦光山宗兵衛(七代)	19世紀後期 (明治時代前期)	2.6	18.5	18.5		岐阜県立多治見工業高等学校
4	上絵金彩染付草花図花瓶	アーレンス社	19世紀後期 (明治時代前期)	36.9	17.5	17.5		個人
5	上絵金彩花図花瓶	森村組	19世紀後期・20世紀前期 (明治時代後期)	28.7	20.0	14.0		個人
6	上絵金彩獅子鈕付壺	新村留蔵	19世紀後期 (明治時代前期)	22.1	12.6	12.6		個人
7	上絵金彩烏瓜図花瓶	永世舎	19世紀後期 (明治時代前期)	25.4	16.9	16.9		兵庫陶芸美術館
8	釉下彩松竹梅図花瓶	ゴットフリート・ワグネル	1883・87(明治16・20)頃	34.4	15.2	15.2		個人
9	釉下彩遊禽図皿	ゴットフリート・ワグネル	1887・96(明治20・29)頃	5.0	52.0	52.0		個人
10	上絵金彩草花図サーヴィス	精磁会社	19世紀後期 (明治時代前期)	8.5	22.5	22.5	コンボート	個人
11	上絵金彩風景図皿	京都陶器会社	19世紀後期 (明治時代中期)	2.4	23.1	23.1		個人
12	摺絵染付養蚕図鉢	美濃	19世紀後期 (明治時代前期)	6.3	20.8	20.8		多治見市美濃焼ミュージアム
13	銅版染付凌雲閣図皿	美濃	19世紀後期・20世紀前期 (明治時代中期)	3.8	26.5	26.5		個人
14	白磁鉢	松村八次郎	19世紀後期・20世紀前期 (明治時代後期)	5.4	12.4	12.4		岐阜県立多治見工業高等学校
15	鳳凰図案	浅井忠	1901(明治34)	29.0	46.0		部分	京都国立近代美術館
16	けしの花図案	浅井忠	1901(明治34)	46.0	29.0			京都国立近代美術館
17	中澤岩太像	浅井忠	1908(明治41)	77.3	59.3			京都市芸繊維大学美術工芸資料館
18	梅模様盃洗	河村蜻山	20世紀前期	11.4	13.4	13.4		個人
19	火鉢	浅井忠	1907(明治40)頃	29.1	24.0	24.0		京都市芸繊維大学美術工芸資料館
20	菊文様皿	浅井忠図案／清水六兵衛(四代)	1907(明治40)	3.4	22.8	22.8		京都市芸繊維大学美術工芸資料館
21	花瓶	清水六兵衛(四代)	20世紀前期	36.0	24.0	24.0		京都国立近代美術館
22	百合花模様花瓶	武田五一図案／錦光山宗兵衛(七代)	1912(大正元)	42.0	21.0	21.0		京都市芸繊維大学美術工芸資料館
23	人物文花瓶	日野厚図案／愛知県立陶器学校	1913(大正2)	28.8	16.8	16.8		愛知県立瀬戸窯業高等学校
24	淡青釉薔薇押文筒形花瓶	愛知県立陶器学校	20世紀初(大正時代)	26.1	11.4	11.4		愛知県立瀬戸窯業高等学校
25	つりがね草番茶器	澤田宗山	20世紀前期	18.0	13.8	13.8	土瓶	個人
26	タイル	淡陶株式会社	1908(明治41)以降	1.2	18.5	18.5	左下	東京工業大学博物館
27	タイル	淡陶株式会社他	20世紀前期	1.2	15.2	15.2		個人
28	新製マジョリカ額皿	東京高等工業学校窯業科板谷波山	1905(明治38)		32.5	32.5		東京工業大学博物館
29	結晶釉花瓶	石川県立工業学校	1900(明治33)頃	13.3				愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
30	釉下彩牡丹文香合	京都市陶磁器試験場	1915(大正4)頃		5.5	5.5		愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
31	硬質陶器皿	東京工業試験所	1912(大正元)	2.2	14.1	14.1		東京工業大学博物館
32	白磁貼花菊文籠形壺	出石磁器会社	20世紀初(明治時代後期)	34.2	27.8	27.8		兵庫陶芸美術館(田中寛コレクション)
2章 産地の動向								
33	上絵人物図花瓶	山崎直之	19世紀後期(明治時代前期)	44.8	19.5	19.5		個人
34	上絵金彩鍾馗鈕香炉	成瀬誠志	19世紀後期(明治時代前期)	16.0	10.5	10.5		個人
35	上絵金彩風景図皿	濤川惣助 向陽舎画	19世紀後期(明治時代前期)	3.0	22.1	22.1		個人
36	釉下彩松にカラス図花瓶	加藤友太郎	19世紀後期・20世紀前期 (明治時代後期)	33.9	20.0	20.0		岐阜県立多治見工業高等学校
37	上絵金彩遊禽図花瓶	永井呉山	19世紀後期(明治時代前期)	34.6	19.5	19.5		個人
38	浮彫蓮子白鷺翡翠図花瓶	宮川香山(初代)	19世紀後期(明治時代前期)	51.0	26.4	26.4		岐阜県現代陶芸美術館
39	上絵金彩風景図長皿	アピラント 山下民松画	19世紀後期(明治時代前期)	8.6	60.4	19.8		個人
40	上絵菊花図花瓶	井村彦次郎陶器店	1904(明治37)頃	32.2	23.6	23.6		個人

番号	資料名	制作者	制作年	法量(単位はcm)				所蔵
				高	幅	奥行		
41	上絵金彩網引図花瓶	森本善七	19世紀後期(明治時代中期)	23.8	19.1	19.1		個人
42	上絵金彩草花図花瓶	開洋社 岩田錫吉	19世紀後期(明治時代前期)	25.2	12.1	12.1		個人
43	上絵金彩花鳥図花瓶	松村九助	19世紀後期(明治時代前期)	29.9	15.6	15.6		個人
44	染付草花図サーバー	加藤紋右衛門(六代)	19世紀後期(明治時代前期)	48.2	31.0	38.2		個人
45	染付鳳凰文大鉢	川本栞吉	19世紀後期 (明治時代前・中期)	20.7	37.3	37.3		個人
46	染付草花図花瓶	加藤弥吉	19世紀後期(明治時代前期)	50.8	22.0	22.0		個人
47	上絵金彩蝶図紅茶セット	西浦圓治(五代)	19世紀後期(明治時代中期)	14.7	18.0	10.5	ポット	個人
48	上絵十二支図皿	赤丸雪山	19世紀後期 (幕末・明治時代前期)	7.1	40.3	40.3		個人
49	上絵金彩鳥図花瓶	友田安清	19世紀後期(明治時代前期)	25.9	14.6	14.6		個人
50	上絵金彩花鳥図皿	アピラント/松原新助 晴山画	19世紀後期(明治時代前期)	2.3	18.5	18.5		個人
51	上絵金彩唐子に花鳥図花瓶	綿野吉二	19世紀後期(明治時代前期)	31.4	15.2	15.2		個人
52	釉下彩鯉図花瓶	石野龍山	20世紀前期 (明治時代後期・大正時代)	32.0	21.7	21.7		個人
53	上絵金彩花鳥図花瓶	帯山与兵衛(九代)	19世紀後期(明治時代前期)	37.2	22.6	22.6		個人
54	八つ手レリーフ文花瓶	錦光山宗兵衛(七代)	20世紀前期(明治時代後期)	23.5	19.0	19.0		岐阜県立多治見工業高等学校
55	瑠白磁牡丹文花瓶	清風与平(三代)	20世紀前期 (明治時代後期・大正時代)	41.0	29.0	29.0		京都国立近代美術館
56	飛青瓷花瓶	諏訪蘇山(初代)	20世紀前期(大正時代)	27.9	13.2	13.2		京都国立近代美術館
57	色絵人物花鳥図花瓶	盈進社	19世紀後期(明治時代前期)	31.1	13.1	13.1		兵庫陶芸美術館
58	釉下彩白鷺図飾皿	出石磁器会社	20世紀初(明治時代後期)	2.4	30.3	30.3		兵庫陶芸美術館
59	上絵金彩花鳥図皿	神陶会社	19世紀後期・20世紀前期 (明治時代後期)	2.5	18.3	18.3		個人
60	色絵秋草文六角花瓶	永世舎	19世紀後期(明治時代前期)	29.2	15.9	17.4		兵庫陶芸美術館
61	上絵桜花図花瓶	田村福平	20世紀初(明治時代後期)	25.3	9.4	9.4		個人
62	上絵山水図花瓶	淡陶社	20世紀初(明治時代後期)	35.6	17.8	17.8		個人
63	上絵象図花瓶	勵工社	19世紀後期(明治時代前期)	31.6	13.5	13.5		個人
64	上絵金彩花図花瓶	深川栄左衛門(八代)	19世紀後期(明治時代前期)	46.6	20.6	20.6		個人
65	朱泥龍文花瓶	伊奈長三(四代)	19世紀後期(明治時代前期)	30.8	18.0	18.0		個人
66	上絵金彩水鳥図皿	芳国社	19世紀後期(明治時代前期)	6.9	31.4	31.4		個人
67	上絵金彩花に蝶図花瓶	藪明山	20世紀前期(明治時代後期)	18.2	6.2	6.2		岐阜県立多治見工業高等学校
3章 発展・展開								
68	生命の樹	バーナード・リーチ	1928(昭和3)	67.7	67.4			京都国立近代美術館
69	仙果春秋文水瓶	加藤土師萌	1928(昭和3)	32.5	19.7	12.6		京都国立近代美術館
70	染付ばしろう模様コーヒーセット	富本憲吉	1918(大正7)	17.0	19.0	13.0	ポット	京都国立近代美術館
71	豌豆文様珈琲器	河合卯之助	1917-21(大正中)頃	13.8	13.8		ポット	個人
72	醤油差し	河合卯之助	1912-26(大正時代)	6.4	8.2	7.5		京都国立近代美術館
73	染付あざみ模様ティーポット 染付あざみ模様小鉢	藤井達吉絵付/河合卯之助窯	1912-26年(大正時代)	21.2	13.0	12.6	ポット	京都国立近代美術館
74	いっちゃん葉模様番茶器 湯呑	バーナード・リーチ	1912-16年(大正初期)	12.5	14.0	12.0	番茶器	京都国立近代美術館
75	象嵌花模様受皿付小壺	富本憲吉	1921(大正10)	8.0	11.1	11.0		京都国立近代美術館
76	伊羅保釉獣面装飾(陶磁器試験所本館玄関)	陶磁器試験所	1928(昭和3)	34.2	33.5	23.0		滋賀県信楽窯業技術試験場
77	人物像(平野耕輔像)	陶磁器試験所/原型:沼田一雅	1937(昭和12)	57.0	35.8	34.4		愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
78	秩父官邸陶器製装飾電燈台	陶磁器試験所	1927(昭和2)	265.5	30.3	26.0		滋賀県信楽窯業技術試験場
79	装飾電燈台	陶磁器試験所	1927(昭和2)	100.3	35.0	35.0		滋賀県信楽窯業技術試験場
80	木兎形装飾電燈具	陶磁器試験所	1930(昭和5)	47.0	32.0	31.0		滋賀県信楽窯業技術試験場
81	瀬戸試験場門燈	陶磁器試験所	1933(昭和8)頃	57.5	30.4	14.5		個人
82	コーヒーセット	陶磁器試験所/デザイン:馬淵利貞	1938(昭和13)	23.3	17.5	8.2	ポット	愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
83	染錦ディナーセット	陶磁器試験所	1933(昭和8)	4.4	41.0	25.7	八角長方大皿	愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
84	染付シュガーポット	陶磁器試験所/デザイン:水町和三郎	1933(昭和8)頃	12.0	17.0	11.8		愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)

番号	資料名	制作者	制作年	法量(単位はcm)				所蔵
				高	幅	奥行		
85	プロッター	滋賀県窯業試験場	1942(昭和17)頃	1.8	6.8	13.5		滋賀県信楽窯業技術試験場
86	筆置き	滋賀県窯業試験場	1942(昭和17)頃	2.5	6.6	6.7		滋賀県信楽窯業技術試験場
87	水注	滋賀県窯業試験場/高橋楽斎(三代)	1935-40(昭和10-15)頃	25.7	26.5	13.0		滋賀県信楽窯業技術試験場
88	白化粧指描沢瀉文大皿	加藤土師萌	1936(昭和11)	4.2	47.5	47.5		岐阜県セラミックス研究所
89	門ブックエンド	加藤土師萌	1930(昭和5)	24.5	11.0	14.5		岐阜県セラミックス研究所
90	瑠璃釉金銀彩インクスタンド	加藤土師萌	1934(昭和9)	9.0	15.2	13.5	台座	岐阜県セラミックス研究所
91	鉄砂釉コーヒーセット	岐阜県陶磁器試験場	1940(昭和15)	13.0	23.9	15.1	ポット	岐阜県セラミックス研究所
92	青花長手四角皿	山茶窯/デザイン:小森忍	1931-34(昭和6-9)	22.1	13.0			瀬戸蔵ミュージアム
93	辰砂花瓶	小森忍	1941-43年(昭和10年代後半)頃	33.5	20.5	20.5		一般財団法人日本陶業連盟
94	紅茶セット	陶磁器試験所/デザイン:内田邦夫	1937(昭和12)	5.2	16.0	11.9	ポット	愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
95	ランプスタンド	陶磁器試験所	1932(昭和7)頃	41.5	13.5	13.5		愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
96	鳳凰香炉	加藤土師萌	1933(昭和8)	21.5	32.2	14.4		岐阜県セラミックス研究所
97	香水瓶	陶磁器試験所	1935(昭和10)	14.6	5.6			愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
98	人魚灰皿	陶磁器試験所/デザイン:日根野作三	1935(昭和10)	18.0	16.2			愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
99	インコ香水ランプ	陶磁器試験所/原型:沼田一雅	1935(昭和10)	21.4	9.7	9.0		愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
100	緑釉黒釉染分皿	牛ノ戸焼/吉田璋也	1931(昭和6)	6.0	30.6	30.6		鳥取民藝美術館
101	並釉縁鉄釉紅茶碗皿	牛ノ戸焼/吉田璋也	制作年不詳	4.2	10.8	9.0	カップ	鳥取民藝美術館
102	鉄釉平鉢	牛ノ戸焼/吉田璋也	1935(昭和10)頃	5.5	18.6	18.6		鳥取民藝美術館
103	ディナーセット「セダン」	日本陶器	1914-25(大正3-14)頃	2.5	25.3	25.3	ディナー皿	個人
104	帝国ホテルライト館洋食器	日本陶器/デザイン:フランク・ロイド・ライト	1955-67(デザイン1922頃)	2.7	27.0	27.0	大皿	個人
105	琵琶湖ホテル コーヒーセット	日本陶器	1937(昭和12)	11.8	15.6	10.3	シュガー	滋賀県信楽窯業技術試験場
106	煙草セット	日本陶器	1929(昭和4)	17.8	11.0	11.0		個人
107	風景絵花瓶	日本陶器/絵付:市ノ木慶治	1941-43(昭和10年代後半)	41.0	25.5	25.5		一般財団法人日本陶業連盟
108	日本館小皿	日本陶器/デザイン:里見宗次	1937(昭和12)	1.7	13.5	9.0		個人
109	金彩カップ&ソーサー	東洋陶器	1921-38(大正10-昭和13)	5.5	6.4	5.5	カップ	個人
110	金彩龍文鉢	東洋陶器	1921-38(大正10-昭和13)	13.0	29.9	29.9		個人
111	ラズベリー文様煙草セット	名古屋製陶所	1933(昭和8)	11.5	7.8	7.8	タバコ入れ	個人
112	調味料セット	名古屋製陶所	1922-37(大正10-昭和12)	19.6	11.5	11.5	スタンド	個人
113	炭弾縦筋煎茶器	香蘭社	1941-43(昭和10年代後半)頃	8.6	10.6	11.8	急須	一般財団法人日本陶業連盟
114	染錦小紋地草花絵八角皿	香蘭社	1941-43(昭和10年代後半)頃	1.8	19.0	19.0		一般財団法人日本陶業連盟
115	陶試紅銀彩碗皿	香蘭社	1941-43(昭和10年代後半)頃	5.4	7.9	5.6	碗	一般財団法人日本陶業連盟
116	植物蝶文花瓶	深川製磁	1931(昭和6)以降	12.5	6.7	6.7		個人
117	染付富士山図煎茶セット	深川製磁	20世紀前期	11.4	14.0	10.5	土瓶	個人
118	蒔絵蝕プラタナス文ペリーセット	大倉陶園/デザイン:日野厚	大:1925(大正14) 小:1929(昭和4)	16.0	25.3	25.3	大	個人
119	白磁金彩紅茶セット	大倉陶園	1927(昭和2)	13.0	21.1	12.0	ポット	個人
120	ウィローパターン洋食器揃	山五陶業(美濃)	1934-38(昭和9-13)	2.5	25.9	25.9	大皿	瑞浪市陶磁資料館
121	汽車土瓶	美濃	1926-44(昭和初期)頃	8.0	5.2			多治見市美濃焼ミュージアム
122	汽車土瓶	有田	1912-26(大正時代)頃	7.2	7.8			多治見市美濃焼ミュージアム

番号	資料名	制作者	制作年	法量(単位はcm)				所蔵
				高	幅	奥行		
123	南満州鉄道汽車土瓶	不詳	1926-44(昭和初期)頃	9.0	9.5	8.3		滋賀県信楽窯業技術試験場
124	青九谷染合灰皿	利岡光仙	1941-43 (昭和10年代後半)頃	6.0	19.5	19.5		一般財団法人日本陶業連盟
125	鳳凰唐草文大皿	山五陶業(美濃)	1931(昭和6)	4.4	29.5	29.5		瑞浪市陶磁資料館
126	銅版歌留多文いげ皿	美濃	1912-26頃(大正時代)	3.6	26.4	26.4		多治見市美濃焼ミュージアム
127	高田徳利	美濃	1912-26頃(大正時代)	33.7	17.5	17.5		多治見市美濃焼ミュージアム
128	着せ付け手活人形	瀬戸	1920-30年代	12.9	5.0		男児	瀬戸蔵ミュージアム
129	初期ノベルティ	丸山陶器株式会社	1925-35(大正14-昭和10)	15.4	9.0		楽器を持つ男	瀬戸蔵ミュージアム
130	高圧罫子	松風陶器合資会社	1906(明治39)	15.0	17.0	17.0		東京工業大学博物館
131	懸垂罫子	日本罫子株式会社	1928(昭和3)	18.5	26.0	26.0		東京工業大学博物館
132	蒸発皿	松風陶器合資会社	1912(大正元)	11.1	35.7	35.7		東京工業大学博物館
133	点火栓	日本罫子株式会社	1930(昭和5)	7.0	3.2	3.2		東京工業大学博物館
134	噴水用装飾彫刻 角鷹	陶磁器試験所	1929(昭和4)	72.0	38.0	63.0		愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
135	方形獅子頭彫刻噴水口	陶磁器試験所	1926(大正15)	22.0	21.0	39.5		滋賀県信楽窯業技術試験場
136	牡丹文室外建築用蛇腹(フリーズ)	陶磁器試験所	1926(大正15)	45.5	174.8	15.0		滋賀県信楽窯業技術試験場
137	浮彫花文陶板	陶磁器試験所	1922(大正11)頃	15.5	15.5	2.0		滋賀県信楽窯業技術試験場
138	雌雄鳥歩行図陶板	陶磁器試験所	制作年不詳	72.5	144.5	5.7		滋賀県信楽窯業技術試験場
139	布目金彩陶板	陶磁器試験所	1926(大正15)	18.8	16.0	1.8		滋賀県信楽窯業技術試験場
140	薄肉菊花文彫刻陶板	陶磁器試験所	1926(大正15)	15.0	15.0	1.4		滋賀県信楽窯業技術試験場
141	薄肉葡萄文彫刻陶板	陶磁器試験所	1924(大正13)	15.0	15.0	1.0		滋賀県信楽窯業技術試験場
142	帝国ホテル装飾ブロック	常滑	1923(大正12)	21.5	21.0			博物館明治村
143	横浜赤レンガ倉庫 棧瓦	三州	1913(大正2)頃	27.8	26.2	5.2		高浜市やきものの里かわら美術館
144	鬼瓦(亀文)	浅井長之助	1930(昭和5)頃	48.8	86.7	26.5		高浜市やきものの里かわら美術館
145	同潤会代官山アパートメント洗面台	高島製陶所(瀬戸)	1927(昭和2)	24.0	40.3	33.2		松戸市教育委員会
146	柿釉コーヒー碗セット	石黒宗麿	1935-36(昭和10-11)	5.5	9.0	7.5	カップ	東京国立近代美術館工芸館
147	絵高麗注子	石黒宗麿	1936(昭和11)	11.0		6.5		個人(東京国立近代美術館工芸館寄託)
148	青磁象嵌花文急須	石黒宗麿	1940年代	7.8		9.1		個人(東京国立近代美術館工芸館寄託)
149	耳付辰砂点描花瓶	新井謹也	1937(昭和12)	33.0	14.0	14.0		京都国立近代美術館
150	白釉草花模様燭台、呉須染付燭台、緑耀釉燭立	新井謹也	1912-26(大正時代)頃	5.0	14.0	14.0	白釉草花模様燭台	三重県立美術館
151	瑠璃釉角形篇壺	新井謹也	制作年不詳	19.5	19.0	13.0		個人
152	黒釉菱形花瓶	河井寛次郎	1942(昭和17)頃	23.0	19.0	19.0		京都国立近代美術館
153	白磁菱形花瓶	河井寛次郎	1942(昭和17)頃	15.0	21.5	21.0		京都国立近代美術館
154	スリッパ釉盒子	河井寛次郎	1930(昭和5)	4.5	5.5	5.5		京都国立近代美術館
155	櫛目土瓶	河井寛次郎	1925(大正14)	10.0	15.0	15.0		京都国立近代美術館
終章								
156	磁器緑線食器揃(国民食器)	山五陶業(美濃)	1943-45(昭和18-20)	4.3	20.7	20.7	大皿	瑞浪市陶磁資料館
157	甲冑人物置物	不詳(日本)	20世紀	23.4	9.5	7.7		愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
158	白雲陶器変形灰皿	陶磁器試験所	1942(昭和17)	7.3	14.5	14.5		愛知県陶磁美術館管理(産業技術総合研究所蔵)
159	鉄釉練炭ストーブ	岐阜県陶磁器試験場	1940(昭和15)	62.2	33.0	33.0		岐阜県セラミックス研究所
160	竈湯沸器	岐阜県陶磁器試験場	1938-45(昭和13-20)	19.8	14.5	18.0		岐阜県セラミックス研究所
161	宮内省御用火鉢	滋賀県窯業試験場/デザイン:濱田庄司	1942(昭和17)	27.0	41.0			滋賀県信楽窯業技術試験場

番号	資料名	制作者	制作年	法量(単位はcm)				所蔵
				高	幅	奥行		
石川会場特設コーナー								
江沼九谷								
石1	赤絵金彩八珍果文蓋物	九谷陶器会社	19世紀後期 (明治時代前期)	11.5	13.0	13.0		石川県立美術館
石2	赤絵金彩鳳凰竜図蓋物	浅井一毫	19世紀後期-20世紀前期 (明治-大正前期)	18.5	24.5	24.5		能美市九谷焼資料館
石3	赤絵草花文蓋物	竹内吟秋	19世紀後期-20世紀前期 (明治-大正前期)	14.3	22.4	22.4		石川県立美術館
石4	染付水禽文八角香炉	初代須田菁華	20世紀前期(大正時代)	23.0	18.3	18.3		石川県立美術館
石5	金襴手鳳凰文鉢	初代中村秋塘	1918-20(大正7-9)	8.4	22.0	22.0		石川県立美術館
参1	加州九谷窯(九谷陶器会社) 引札		1879(明治12)	(縦)3 9.5	(横)5 4.7			石川県立歴史博物館
能美九谷								
石6	色絵朝顔仔猫図平鉢	九谷庄三	19世紀後期(明治時代前期)	6.0	33.0	33.0		能美市九谷焼資料館
石7	錦手鉄鉢形小井	澤田南久	1911(明治44)	7.3	17.0	17.0		能美市九谷焼資料館
石8	色絵花鳥図蓋物	初代武腰善平	19世紀後期-20世紀前期 (明治時代後期)	15.0	24.0	24.0		能美市九谷焼資料館
石9	金襴手官女奏楽図双耳花瓶	松本佐平	1878(明治11)	35.8	22.5	20.1		石川県立美術館
石10	色絵金彩葡萄文花瓶	初代徳田八十吉	20世紀前期(大正時代)	44.9	28.8	28.8		石川県立美術館
金沢九谷								
石11	花鳥図巻蓑具	石川県勸業場	1876-78(明治9-11)	12.2	9.3	9.3	大	石川県立歴史博物館
石12	色絵山水図湯呑	内海吉造	19世紀後半(明治時代前期)	6.5	7.6	7.6		石川県立美術館
石13	色絵羅漢図花瓶	春名繁春	1879(明治12)頃	39.6	17.0	17.0		石川県立美術館
石14	色絵金彩兼六園図湯呑	清水清閑	19世紀後期-20世紀前期 (明治時代-大正時代)	7.0	6.8	6.8		石川県立歴史博物館
石15	色絵蝶文皿	不詳	20世紀前期(大正時代)					個人蔵
石16	花鳥十二ヶ月密画珈琲具	谷口金陽堂	19世紀後期-20世紀前期 (明治時代-昭和時代)	17.1	21.0	12.5	大	石川県立歴史博物館
日本硬質陶器								
石17	白釉ボウル	日本硬質陶器	1897-1935 (明治30-昭和10)頃	9.9	14.9	14.9		石川県立歴史博物館
石18	六紋有蓋茶碗	日本硬質陶器	1897-1935 (明治30-昭和10)頃	8.3	11.6	1.6		石川県立歴史博物館
参2	日本硬質陶器工場全景引札	日本硬質陶器	1897-1935 (明治30-昭和10)頃	58.5	43.0			石川県立歴史博物館

秋季特別展

石川県立歴史博物館開館 30 周年記念

城下町金沢は大にぎわい！

開催期間 9/17～11/6

本展覧会は、江戸時代の金沢城下のにぎわいの様子を寺社のご開帳や芝居、神事・祭礼など主に寺社境内における庶民の娯楽に焦点を当てながら紹介する初の試みでした。ビジュアル資料や再現展示、クイズをまじえながら、わかりやすい展示を目指しました。来場者は金沢の家柄町人宮竹屋の初公開史料や福助座の金沢歌舞伎の衣裳、金沢浄瑠璃指人形、不思議な伝承をもつ「淡吹の面」などを熱心に見入っていました。



チラシ

- 会 期** 平成 28 年 9 月 17 日（土）～11 月 6 日（日）※会期中無休
- 時 間** 9:00～17:00（展示室への入室は 16：30 まで）
- 観 覧 料** 秋季特別展のみ 一般 800 円（640 円） 大学生 640 円（510 円） 高校生以下無料
※（ ）内は 20 名以上の団体料金、65 歳以上は団体料金
- 会 場** 特別展示室・企画展示室・ギャラリー
- 展示構成** プロローグ ー城下町金沢のにぎわいの場を読み解くー / 1 金沢町人宮竹屋の歴史と文化 / 2 寺社のご開帳に集う人々 / 3 芝居と茶屋町 / 4 神事・祭礼・盆正月 / エピローグ ーその後の城下町金沢ー
- 催 物**
- 記念講演会①**（聴講無料・申込不要）
「金沢の開帳」
日 時：9 月 18 日（日）13:30～15:00
講 師：加能地域史研究会参与 宇佐美 孝 氏
会 場：ワークショップルーム
聴講者：30 名
- ワークショップ①**（参加無料・申込不要）
「文弥人形浄瑠璃を楽しもう！」
日 時：9 月 25 日（日）13:30～15:00
講 師：東二口文弥人形浄瑠璃保存会
会 場：ワークショップルーム
参加者：60 名
- 記念講演会②**（聴講無料・申込不要）
「城下町のにぎわいと芸能興行」
日 時：10 月 10 日（月・祝）13:30～15:00
講 師：金沢市立玉川図書館主任主事 塩川 隆文 氏
会 場：ワークショップルーム
聴講者：51 名
- ワークショップ②**（参加無料・申込不要）
「さるまわしがやってきた！」
日 時：10 月 8 日（土）13:30～14:30
会 場：当館ギャラリー
参加者：184 名
- 展示解説**（要観覧料・申込不要）
日 時：9 月 24 日（土）・10 月 30 日（日）13:30～、11 月 3 日（木・祝）15:30～
講 師：当館学芸員
会 場：特別展示室・企画展示室
参加者：9 月 24 日（土）：35 名
10 月 30 日（日）：35 名
11 月 3 日（木・祝）：37 名
- ワークショップ③**（参加費 500 円、要申込）
「歌舞伎ってなあに？」
日 時：10 月 29 日（土）13:30～15:00
講 師：小松市民歌舞伎講師 伊澤 鉄馬 氏
会 場：ワークショップルーム
参加者：26 名



導入展示



展示風景



展示風景



展示風景



クイズラリーパネル



展示解説



記念講演会②



ワークショップ①



ワークショップ②



ワークショップ③

【出品一覧・展示替え予定表】



- ・No は図録の作品番号です。展示順とは一致していませんので、ご了承ください。
- ・都合により展示作品および展示期間が変更されることがあります。
- ・展示期間の記載のない作品は、全期間展示です。

プロローグ —城下町金沢のにぎわいの場を読み解く—

番号	指定	作 品 名	員数	制作年代	所 蔵	展示期間
1		金沢城下図	1 枚	江戸時代(19 世紀)	本館	
2	県指定	金沢城下図屏風	6 曲 1 双	江戸時代(19 世紀)	本館	後期
3		流聞軒其方狂歌絵日記	4 冊	江戸時代(18 世紀)	本館	
4	市指定	浅野川四季風景図	1 巻	江戸時代(19 世紀)	村松七九	前期
5		昔の金澤	5 帖	昭和 2~7 (1927~1932) 年	個人	
6		加賀藩年中行事図繪	4 帖	昭和 7(1932) 年	金沢大学附属図書館	
7		梅田日記 式番~五番	4 冊	江戸時代(19 世紀)	金沢大学資料館	式番は 9/24~
8	市指定	鶴村日記	28 冊	江戸時代(19 世紀)	白山市立博物館	
9		菱屋彦次日記	1 冊	江戸時代(19 世紀)	本館	前期
10		夷曲百人一首	1 冊	天保 11(1840) 年	本館	前期

1 金沢町人宮竹屋の歴史と文化

番号	指定	作 品 名	員数	制作年代	所 蔵	展示期間
11		由緒帳	1 冊	寛政 6(1794) 年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
12		人数帳	1 冊	天保 6(1835) 年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
13		亀田氏系図	1 枚	江戸時代(19 世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	
14		亀田氏系譜	1 冊	江戸時代(19 世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	
15		巡見上使一卷等	1 冊	天保 9(1838) 年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
16		役人簿	1 冊	江戸時代(19 世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	
17		年頭御札刻限等	1 冊	江戸時代(19 世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	
18		御次より拝領御書立写	1 通	文化 10(1813) 年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
19		償米五貫目指上の御書立本紙	1 通	万延元(1860) 年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
20		産物方より御勝手方へ御達之上拝領覚書写	2 通	元治元(1864) 年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
21	県指定	亀田氏旧記	13 冊	明治時代(19 世紀)	金沢市立玉川図書館	
22		亀田純蔵肖像画	1 幅	江戸時代(19 世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	
23		羅漢講員影像	1 幅	文政 7(1824) 年	大乘寺	
24		目録	1 通	安永 8(1779) 年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
25		入日記	2 通	安永 6(1777) 年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
26		御結婚入用留	1 冊	江戸時代(19 世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	
27		町年寄役御免許御書立	3 通	明治元(1868) 年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
28		亀田伊右衛門写真	1 枚	明治時代(19 世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	
29		亀田氏蔵書目録	1 冊	江戸~明治時代 (19 世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	
30		携帯硯箱	1 点	江戸~明治時代 (19 世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	

番号	指定	作 品 名	員数	制作年代	所 蔵	展示期間
31		煙草盆	1点	江戸～明治時代 (19世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	
32		巻煙草入	1点	江戸～明治時代 (19世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	
33		銭箱	1点	天保15(1844)年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
34		商家蕃昌宝の入船	1枚	元治2(1865)年	本館	
35		金府諸商売繁昌見多手	1枚	江戸時代(19世紀)	本館	
36		加越能名物産物	1枚	文久元(1861)年	本館	
37		神農画像	1幅	天正14(1586)年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
38		亀田薬局古写真	1枚	昭和時代(20世紀)	黒田清一	
39		薬研	1点	江戸～明治時代 (19世紀)	黒田清一	
40		亀田薬舗看板	1枚	明治時代(19世紀)	本館	
41		亀田薬舗看板	1点	明治時代(19世紀)	黒田清一	
42		川南町間数并店借同居出店商売覚帳写	1冊	江戸時代(19世紀) 写	金沢市立玉川図書館	
43		宮竹屋喜左衛門家酒蔵鬼瓦 付棟札・土板	1件	江戸後期(19世紀)	個人	
44		石川縣下商工便覧	1冊	明治21(1988)年	金沢市立玉川図書館	
45		亀田家地形絵図	1枚	明治6(1873)年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
46		亀田家敷地図	1枚	明治6(1873)年	金沢工業大学ライブラリーセンター	
47		松尾芭蕉頭陀袋	1点	江戸時代(17世紀)	個人	後期
48		松尾芭蕉 山中懐紙	1幅	元禄2(1689)年	福井県立美術館	後期
49		支考極め書	1幅	元禄14(1701)年	福井県立美術館	後期
50	県指定	紙本墨書温泉頌山中の句	1幅	元禄2(1689)年	石川県立美術館	前期
51		松尾芭蕉書状幅	1幅	元禄4年(1691)頃	本館	前期
52		道具帳	1冊	明治時代(19世紀)	金沢工業大学ライブラリーセンター	
53		亀田伊右衛門茶道伝書	1冊	文政11(1828)年	金沢工業大学ライブラリーセンター	

2 寺社のご開帳に集う人々

番号	指定	作 品 名	員数	制作年代	所 蔵	展示期間
54		江の嶋弁財天開帳参詣群集之図	1枚	安政3(1856)年	江戸東京博物館	前期
55		猿猴庵日記	4冊	江戸時代後期成立、 明治44(1911)年写	名古屋市鶴舞中央図書館	
56		張州勝藍開帳集	1冊	文化2(1805)年	名古屋市博物館	
57		泉涌寺靈宝拝見図・嵯峨靈仏開帳志	1冊	天明4(1784)年・ 文政2(1819)年	名古屋市博物館	
58		萱津道場参詣記	1冊	文政10(1827)年	名古屋市博物館	
59		笠寺出現宝塔絵詞伝	1冊	文化11(1814)年	名古屋市博物館	
60		開帳談話	1冊	文政12(1829)年	名古屋市蓬左文庫	
61		当麻寺由来・中将姫由来略縁起	1枚	江戸時代	個人	
62		和州当麻寺伽藍之絵図面	1枚	江戸時代	個人	
63		善光寺開帳	1冊	文化6(1809)年	(公財)東洋文庫	
64		高山山専修寺一光三尊如来縁起	1枚	江戸時代	個人	
65		瓦版「人魚図」 (資料番号イ-11-1346-79-45)	1枚	文化2(1805)年	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	
66	市指定	木造二天立像	2軀	平安時代	観音院	
67	県指定	自他国寺庵宝物并法談願旧記録	1冊	江戸時代	金沢市立玉川図書館	
68	県指定	開帳旧記・宝物弘通旧記	1冊	江戸時代	金沢市立玉川図書館	
69	県指定	寺社家開帳等并臨時之神事願	1冊	江戸時代	金沢市立玉川図書館	
70		卯辰観音院境内図	1枚	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
71		基五郎殿・豊之丞殿御宮参二付観音院 御作法	1枚	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
72		卯辰金龍山観音院本尊略縁起	1枚	明治32(1899)年	石川県立図書館	
73		加賀金沢医王院刷物	1枚	明治時代	石川県立図書館	
74		灰像弁財天	1点	年未詳	観音院	
75		版木	8点	江戸～大正時代	観音院	
76		俱利伽羅不動三尊像(複製)	1軀	平成時代	不動寺	10/11～10/20

番号	指定	作 品 名	員数	制作年代	所 蔵	展示期間
77		俱利伽羅長楽寺縁起	1冊	江戸時代	不動寺	
78		加州俱利伽羅不動尊略縁起	1枚	江戸時代	石川県立図書館	
79	町指定	源頼朝下文	1幅	建久7(1196)年	不動寺	
80		俱利伽羅長楽寺領絵図	1枚	寛保3(1743)年	不動寺	
81	市指定	淡吹の面	1面	室町時代	尾山神社	9/17~9/30
82		立山曼荼羅 佐伯家本(複製)	4幅	原本:江戸時代 (19世紀)	富山県[立山博物館]	
83		和漢三才図會 巻68	1冊	正徳2(1712)年成立	石川県立図書館	
84		肉付の面(複製)	1面	原品:室町時代	吉崎御坊願慶寺	10/1~10/10、 10/21~11/6
85		肉付の面縁起	1巻	江戸時代	吉崎御坊願慶寺	10/1~10/10、 10/21~11/6
86		肉付の面縁起 版木	1枚	江戸時代	吉崎御坊願慶寺	10/1~10/10、 10/21~11/6
87		加州那谷寺絵図	2枚1組	享和2(1802)年	本館	
88		那谷寺山景之図	1点	江戸時代	石川県立図書館	
89		加賀国那谷寺略縁起	1点	嘉永4(1851)年	石川県立図書館	
90		那谷寺観音刷物	2枚	江戸~明治時代	石川県立図書館	
91		小松旧城絵図	1面	江戸時代(19世紀)	小松天満宮	
92		小松天満宮社頭遠望図額	1面	明治24(1891)年	小松天満宮	
93		小松天満宮縁起	1巻	江戸時代	小松天満宮	
94		小松天満宮行列絵巻	1巻	安政4(1857)年	小松天満宮	
95		観音院出開帳時の志納袋断簡	1点	文政2(1819)年	小松天満宮	
96		観音院出開帳警護足軽出仕願	1点	文政元(1818)年	小松天満宮	
97		版木	1枚	正徳4(1714)年	小松天満宮	
98		絹本着色天満宮霊像	1幅	元治2(1865)年	小松天満宮	
99		天満宮名額	1枚	正徳4(1714)年	小松天満宮	
100		天満書(直姫・芳姫・勇姫・寛姫)	4枚	文政2(1819)年	小松天満宮	
101		前田綱紀書幅「萬物生光輝」	1幅	江戸時代(17-18世紀)	小松天満宮	
102		勝千代書幅「仙女」	1幅	文政2(1819)年	小松天満宮	
103		剣梅鉢三蓋松文長持筥祭具筥	1対	安政4(1857)年	小松天満宮	
104		熊獅子	1頭	安政4(1857)年	上渕上町・中渕上町	
105		兜(複製)	1頭	原品:平安時代	多太神社	9/21~
106	重文	袖	1双	平安時代	多太神社	
107	重文	臙当	1双	平安時代	多太神社	
108		直垂	1点	平安時代	多太神社	
109		矢根	1点	平安時代	多太神社	
110		源義仲願書	1点	平安時代	多太神社	
111	市指定	回向札	1点	寛永6(1629)年	多太神社	

3 芝居と茶屋町

番号	指定	作 品 名	員数	制作年代	所 蔵	展示期間
112		都万太夫座芝居図(資料番号07948)	6曲1隻	江戸時代(17世紀後半)	早稲田大学演劇博物館	前期
113		享保期市村座場内図屏風(資料番号05796)	4曲1隻	江戸時代(18世紀)	早稲田大学演劇博物館	後期
114		風流踊図(資料番号ヌ14-85)	1冊	江戸時代	早稲田大学演劇博物館	
115		口上之覚書	1巻	江戸時代(17世紀)	本館	
116	県指定	三壺聞書 拾七	1冊	江戸時代(17世紀)	金沢市立玉川図書館	
117		浪花百景 道頓堀角芝居	1枚	江戸時代(19世紀)	大阪歴史博物館	前期
118		滑稽浪華名所 道頓堀	1枚	江戸時代(19世紀)	大阪歴史博物館	後期
119		川上芝居戯場図	1冊	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
120	県指定	川上芝居一件抜書	1冊	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
121		川上芝居小屋景観図	1枚	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
122		川上芝居復元模型	1点	平成時代	金沢市菊川町公民館	
123		川上芝居番付	1冊	江戸時代(19世紀)	本館	
124		川上南芝居番付	1枚	江戸時代(19世紀)	本館	

125		犀川馬場先芝居番付	1枚	江戸時代(19世紀)	本館	
126		愛宕町芝居番付	1枚	江戸時代(19世紀)	本館	
127		浅の川春日山芝居番付	1枚	文政2(1819)年	本館	
128		金沢等芝居絵番付集	1冊	江戸～明治時代 (19世紀)	石川県立図書館	
129		金刀比羅神社奉納額	1面	慶應2(1866)年	金刀比羅神社	
130		絵本舞台扇(資料番号ロ15-394-2)	3冊	明和7(1770)年成立	早稲田大学演劇博物館	
131		大当役名尽	1枚	安政元(1854)年	本館	
132		大当役名尽	1枚	安政元(1854)年	本館	
133		嵐和歌三郎 写真	1枚	明治～昭和時代	銭屋五兵衛記念館	
134		嵐和歌三郎 門人帳	1冊	明治～昭和時代	銭屋五兵衛記念館	
135		嵐和歌三郎 台本	10冊	明治～昭和時代	銭屋五兵衛記念館	
136		嵐和歌三郎 女形芝居用小道具 (かんざし・箆)	9点	明治～昭和時代	銭屋五兵衛記念館	
137		嵐和歌三郎 印鑑	7点	明治～昭和時代	銭屋五兵衛記念館	
138		嵐和歌三郎 拍子木	1対	明治～昭和時代	銭屋五兵衛記念館	
139		登龍門文様打掛	1領	明治～大正時代	梅若演劇衣裳店	前期
140		蛇鷹文様四天	1領	明治～大正時代	梅若演劇衣裳店	後期
141		石橋文様伊達下り	1枚	明治～大正時代	梅若演劇衣裳店	後期
142		雲龍文様長袴	1具	明治～大正時代	梅若演劇衣裳店	
143		熨斗目	1領	明治～大正時代	梅若演劇衣裳店	
144		網代垣に紅葉文様着付	1領	明治～昭和初期	梅若演劇衣裳店	前期
145		源氏車文様ぶつ返り着付	1領	明治～昭和初期	梅若演劇衣裳店	後期
146		三番叟鈴	1点	明治～昭和時代	梅若演劇衣裳店	
147		ふりつづみ	1対	明治～昭和時代	梅若演劇衣裳店	
148		春駒	1点	明治～昭和時代	梅若演劇衣裳店	
149		紅白手獅子	1対	明治～昭和時代	梅若演劇衣裳店	
150		福助座法被	1点	明治～昭和時代	梅若演劇衣裳店	
151		福助座刀袋	1点	明治～昭和時代	梅若演劇衣裳店	
152		切付	10枚	明治～昭和時代	梅若演劇衣裳店	
153		歌舞伎台本	6冊	明治～昭和時代	梅若演劇衣裳店	
154		建具具帳	1冊	明治～昭和時代	梅若演劇衣裳店	
155		福助座古写真アルバム	4冊	明治～昭和時代	梅若演劇衣裳店	
156		文楽人形 かしら 源太	1体	江戸～明治時代	大阪歴史博物館	
157		文楽人形 かしら 娘	1体	江戸～明治時代	大阪歴史博物館	
158		浄瑠璃指人形 人形	8体	明治～昭和時代	金沢工業大学ライブラリーセンター	
159		浄瑠璃指人形 頭	8個	明治～昭和時代	金沢工業大学ライブラリーセンター	
160		浄瑠璃指人形 手	4本	明治～昭和時代	金沢工業大学ライブラリーセンター	
161		浄瑠璃指人形 足	2組	明治～昭和時代	金沢工業大学ライブラリーセンター	
162		浄瑠璃指人形 のれん	4枚	明治～昭和時代	金沢工業大学ライブラリーセンター	
163	県指定	浄瑠璃番組	1枚	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
164		東新地絵図	1枚	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
165	県指定	両茶屋町一件	1冊	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
166		金澤俳優伝記	1冊	江戸時代(19世紀)	西尾市岩瀬文庫	
167		東新地芸子玉尽	1枚	江戸時代(19世紀)	本館	
168		金沢西新地図	1枚	慶應3(1867)年	本館	
169		松田文華堂額	1面	江戸時代(19世紀)	松田文華堂	
170		娼説	1冊	江戸時代(19世紀)	松田文華堂	

4 神事・祭礼・盆正月

番号	指定	作品名	員数	制作年代	所蔵	展示期間
171		神田明神祭礼図巻	2巻	江戸時代(19世紀)	江戸東京博物館	前期は巻1、 後期は巻2

番号	指定	作 品 名	員数	制作年代	所 蔵	展示期間
172		張州雑志 卷二十～二十三	4冊	江戸時代(18世紀)	名古屋市蓬左文庫	
173		御躰祭真景図略	3冊	文政10(1827)年頃	名古屋市博物館	
174	県指定	祭礼旧記等	1冊	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
175		両御神事古今御番組(加賀藩御能に関する日記及番組)	1冊	江戸時代	金沢市立玉川図書館	
176		観音院神事能能組	1枚	江戸中～後期(18～19世紀)	本館	
177	市指定	前田利長判持写	1通	慶長9(1604)年	大野湊神社	
178		寺中佐那武神事能産子廿五ヶ村見物棧敷割	1枚	嘉永7(1854)年	石川県立図書館	
179	市指定	能面 翁	1面	元和9(1623)年	大野湊神社	
180		能面 黒色尉	1面	元和9(1623)年	大野湊神社	
181	市指定	寺中能番付	1枚	寛延3(1750)年	大野湊神社	
182		氏神八幡宮御開帳ニ付御寄進并執持面々之名前	1冊	天明7(1787)年	上野八幡神社	
183		八幡宮応神天皇開帳御寄付控帳	1冊	文政2(1819)年	上野八幡神社	
184		祈祷八幡宮如意輪観音開帳願許可ニ付達書	1巻	文化11(1814)年	上野八幡神社	
185		上野村領氏神応神天皇像開帳願許可ニ付達書	1巻	嘉永4(1851)年	上野八幡神社	
186		囃子番組奉納額	1面	万延元(1860)年	上野八幡神社	
187		明治四十四年式年大祭行列写真	2枚	明治44(1911)年	上野八幡神社	
188		卯辰村多聞天臨時神事諸事留帳	1点	明和6(1769)年	宇多須神社	
189	県指定	大象の図	1枚	江戸時代(19世紀)	金沢市立玉川図書館	
190		竹田ぜんまいから久里	1枚	江戸時代(19世紀)	本館	
191		卯辰八幡宮年紀慶賀神事留	1冊	弘化4(1847)年	宇多須神社	
192		コレラ番付	1枚	安政6(1859)年	本館	
193		獅子 造り物	1点	平成時代	大阪くらしの今昔館	
194		御恐悦盆正月造り物細工物等番付	1枚	江戸時代(19世紀)	石川県立図書館	
195		御町中作り物等品々見聞部分集	1枚	弘化2(1845)年	本館	

エピソード ―その後の城下町金沢―

番号	指定	作 品 名	員数	制作年代	所 蔵	展示期間
196		金沢開始三百年祭ニ付前田家旗本備略式模擬行列一覽絵図	1枚	明治24(1891)年	本館	
197		一目瞭然加賀金澤開始三百年祝祭各町賑ひ開取番附	1枚	明治24(1891)年	石川県立図書館	
198		高德公三百年祭画卷	1巻	明治36(1903)年	(公財)前田育徳会	前期
199		旧藩祖三百年祭等各町催物画	7枚	明治20～30年代	金沢市立玉川図書館	
200		旧藩祖三百年祭趣意書	1枚	明治31(1898)年	石川県立図書館	
201		旧藩祖三百年祭協賛依頼状	1枚	明治31(1898)年	石川県立図書館	
202		旧藩祖三百年祭発起人規約	1枚	明治31(1898)年	石川県立図書館	
203		旧藩祖三百年祭金沢市発起人交名	1枚	明治31(1898)年	石川県立図書館	

(4) 企画展・スポット展示

冬の企画展 「モダン金沢と大衆文化」

金沢は、しばしば「城下町」といった伝統的なイメージで語られます。しかし、大正から昭和戦前の時期、多くの地方都市にもまして「モダン都市」の色彩を帯びた時代がありました。大正末期に始まったラジオ放送は、国内外の出来事をすぐに全国に伝え、また、都市部を中心に映画などの娯楽やデパートの出現など、現在に続く生活文化の原型がこの時代に生まれました。本展では、蓄音機やラジオなどの道具、映画のポスターをはじめ、チラシ、雑誌など、豊かな大衆文化の様相を紹介しました。



チラシ

会 期	平成28年12月10日(土)～平成29年1月15日(日)【30日間】		
	※年末年始の休館日 12月28日～1月3日		
開館時間	9:00～17:00 (展示室への入室は16:30まで)		
会 場	企画展示室		
展示解説	12月11日(日)	13:30～14:30	参加者:10名
	1月14日(土)	13:30～14:30	参加者:10名

れきはくゼミナール

12月17日(土)「モダニズムと大衆文化」
会場、ワークショップルーム
講師、当館学芸員 参加者:23名



展示風景



展示解説

展示資料一覧

※全て当館所蔵資料

番号	資料名	員数	年代
①モダンライフの到来			
1	金沢商店記念双六	1	大正13年(1924)
2	金沢市街地図	1	昭和前期
3	金沢見物電車線路双六	1	大正～昭和前期
4	金沢市電車開通記念写真帖	1	大正8年(1919)
5	市電廃止記念(写真アルバム)	1	昭和42年(1967)
6	金沢電気軌道株式会社 鉄道軌道沿線案内(鳥瞰図)	1	大正～昭和期
7	金沢電車案内	1	大正8年(1919)
8	蓄音機(ホームディスク グラフォフォン)	1	明治35年(1902)
9	レコードケース	1	大正～昭和前期
10	扇風機	1	大正～昭和前期
11	木製冷蔵庫	1	昭和前期
12	ラジオ許可証	1	昭和7年(1932)
13	テレフンケンライツマイクロホン(昭和5年、JOJK 金沢放送局のもの)	1	昭和前期
14	鉱石ラジオ	1	大正末期
15	ラッパ型スピーカ付ラジオ BOSCH 社製	1	昭和前期
16	サンダー(MODEL343)ラジオ	1	昭和10年(1935)
17	同上 説明書	1	昭和前期
18	ラジオ体操第3図解	1	昭和11年(1936)
19	香林坊交叉点(写真パネル)	1	昭和9年(1934)
20	カフェー 赤玉の雑誌広告(写真パネル)	1	昭和前期
21	カフェー 銀座会館の雑誌広告(写真パネル)	2	昭和前期
22	カフェー ドラゴンの雑誌広告(写真パネル)	1	昭和前期
23	雑誌「モダン金沢」	8	昭和前期
24	商和会 安江町 武蔵辻 下堤町 共同福引大売出し	1	昭和前期
25	第10回北陸写真サロン 会場宮市大丸	1	昭和前期
26	必勝生活展 宮市大丸	1	昭和17年(1942)頃
27	ラジオ昼夜線単独供給開始記念	1	昭和前期
28	どりこの	1	昭和前期
29	キリンレモン シトロン サイダー キリン麦酒株式会社	1	昭和前期
30	川崎オルビット型電気扇	1	昭和前期
31	氷券と冷蔵函 大日本製氷株式会社	1	昭和前期
32	マツダ電気時計 電灯線から	1	昭和前期
33	デュピター 北辰商会	1	昭和前期
34	漆ハ塗料ノ王 全国漆商連合会	1	昭和前期
35	石川県飛行機愛国号製作費献納金募集	1	昭和7年(1932)
36	吾等の飛行機 愛国石川号命名式 5月8日午前10時 於野村練兵場	1	昭和7年(1932)
37	金沢飛行場竣工記念 日の丸旗	1	昭和13年(1938)
38	金沢飛行場位置図	1	昭和12年(1937)
39	栗ヶ崎遊園の雑誌広告(写真パネル)	1	昭和前期
40	栗ヶ崎の海水浴	1	昭和前期
41	栗ヶ崎大衆座台本 碧響汀人作 國史劇 櫻井の驛	1	昭和3年(1928)
42	栗ヶ崎遊園レビュー女優プロマイド	4	昭和前期
43	浅野川電車沿線案内パンフレット	2	昭和前期
44	栗ヶ崎遊園絵葉書	8	昭和前期
45	海は金石涛々園へ	1	昭和前期
46	金石涛々園案内図	1	昭和5年(1930)頃
47	加賀・金石海浜涛々園絵葉書	8	昭和前期
48	名物せんべい 箱	1	昭和前期
49	産業と観光の大博覧会 宣伝入り 年賀はがき	1	昭和7年(1932)
50	産業と観光の大博覧会 絵葉書 スタンプ付き	15	昭和7年(1932)
51	産業と観光の大博覧会 絵葉書	10	昭和7年(1932)
52	産業と観光の大博覧会 絵葉書 外袋	1	昭和7年(1932)
53	産業と観光の大博覧会 チラン	4	昭和7年(1932)
54	産業と観光の大博覧会 宣伝用葉書	7	昭和7年(1932)

番号	資料名	員数	年代
55	産業と観光の大博覧会 北陸遊覧案内パンフレット	1	昭和7年(1932)
56	金沢特産品及び名所旧跡案内パンフレット	1	昭和12年(1937)
57	雑誌「観光の金沢」	1	昭和10年(1935)
58	昭和劇場内のにぎわい(古写真タペストリー)	1	昭和前期の古写真より
②娯楽の王様 キネマ			
59	昭和初期風俗画卷	1	昭和12年(1937)頃
60	婦人洋服着用率(パネル)	1	
61	手動式映写機	1	大正13年(1924)頃
62	同上 販促ポスター(パネル)	1	
63	九条武子夫人 無憂華	1	昭和5年(1930)
64	母の曲	1	昭和12年(1937)
65	新しき土	1	昭和12年(1937)
66	新しき土	1	昭和12年(1937)
67	週報 日映海外ニュース	1	昭和15年(1940)
68	元禄忠臣蔵 前篇	1	昭和17年(1942)
69	鳥居強右エ門	1	昭和17年(1942)
70	米英を撃て	1	昭和18年(1943)
71	撃ちてし止まむ	1	昭和18年(1943)
72	勝利への輸送	1	昭和18年(1943)
73	愛染かつら 完結篇	1	昭和14年(1939)
74	チャップリンのサーカス ほか	1	昭和3年(1928)
75	西部戦線異状なし ほか	1	昭和5年(1930)
76	インチキ商売 ほか	1	昭和7年(1932)
77	進めオリムピック ほか	1	昭和7年(1932)頃
78	制服の処女、お蝶夫人 ほか	1	昭和8年(1933)
79	新婚旅行 ほか	1	昭和9年(1934)
80	大学よいとこ ほか	1	昭和11年(1936)
81	ひやめしお旦那 ほか	1	昭和11年(1936)
82	娘よ何故さからふ ほか	1	昭和12年(1937)
83	新しき土、平原児	1	昭和12年(1937)
84	浅草の灯 ほか	1	昭和12年(1937)
85	第七天国 ほか	1	昭和12年(1937)
86	敵国降伏、支那事変特報 ほか	1	昭和12年(1937)
87	続愛染かつら ほか	1	昭和13年(1938)
88	紀元二千六百年大船記念映画 女性の覚悟	1	昭和15年(1940)
89	輝く日本 ほか	1	昭和16年(1941)
90	興亜映画新制第一回作品 元禄忠臣蔵	1	昭和16年(1941)
91	完成迫る!元禄忠臣蔵	1	昭和16年(1941)
92	鳥居強右エ門	1	昭和17年(1942)
93	サヨンの鐘 裏表	2	昭和18年(1943)
94	宣伝用案内状 サヨンの鐘に出演して	1	昭和18年(1943)
95	くもとちゅうりっぷ	1	昭和18年(1943)
96	長篇漫画 フクちゃんの潜水艦	1	昭和19年(1944)
97	西住戦車長伝 特別大試写会プログラム(皇紀2600年)	1	昭和15年(1940)
98	THE SHOCHIKU NEWS NO 99	1	大正13年(1924)
99	THE SHOCHIKU NEWS NO 112	1	大正13年(1924)
100	松竹座ニュース NO.567	1	昭和6年(1931)
101	松竹座ニュース NO.593	1	昭和7年(1932)
102	松竹座ニュース NO.1035	1	昭和13年(1938)
103	松竹座ニュース NO.1036	1	昭和13年(1938)
104	プロマイド(大正期のもの)	30	大正期
105	映画関係新聞記事スクラップ	3	昭和前期
106	一銭フィルムブック	1	昭和前期
107	松竹映画宣伝資料(プレスシート、社標、チラシのデザイン画と印刷原版)	一括	昭和前期

企画展

「村松コレクションの書と絵画」

村松コレクションは、藩政時代、金沢で江戸三度飛脚の棟取をつとめた家柄の村松七九氏より、当館の前身である石川県立郷土資料館の時代に、古文書をはじめ刷物や絵図・書籍・絵画や書などの軸物、それに器物などと、近世から近代・現代にわたる数多くの寄贈をうけた郷土資料の一群です。以後、近年でも村松家より単発的に有益な品々を寄せられ、当館の展示や研究活動に大いに活用されている。

本企画展は、その中から「絵画」「書」26点を公開したが、併せて個人所蔵で携帯筆記用具としての「矢立」の逸品の数々と、さらに「印籠」・「煙草入」・「根付」などをも特別に加え、総合計 68点を展示した。



チラシ

会 期 平成 29 年 2 月 11 日（土・祝）～3 月 20 日（月・祝） 会期中無休【38 日間】
開館時間 9:00～17:00（展示室への入室は 16:30 まで）
会 場 企画展示室
展示解説 2 月 25 日（土） 14:30～ 参加者：25 名



展示風景



展示解説

展示資料一覧

番号	資料名	作者	時代	員数	所蔵者
1	蓬萊飾り図自画賛	遠藤高環	江戸時代 1857 (安政4) 年	1 幅	当館
2	豊干禅師図	矢田四如軒	江戸時代 1793 (寛政5) 年	1 幅	当館
3	月に岩竹図	寺島応養	江戸時代 19 世紀	1 幅	当館
4	山水図 (湖中舟遊図)	寺島応養筆	江戸～明治時代 19 世紀	1 幅	当館
5	雪中山水図	津田菜窠	江戸時代 18～19 世紀	1 幅	当館
6	滝図	福島秀川	江戸～明治時代 19 世紀	1 幅	当館
7	竹に岩図	多々良西臯	江戸時代 19 世紀	1 幅	当館
8	竹図自画賛	寺西芸園	江戸時代 19 世紀	1 幅	当館
9	竹図	高井二百	江戸時代 1800 (寛政12) 年	1 幅	当館
10	喬木雙喜図	村田翠丈 (千里)	江戸時代 18～19 世紀	1 幅	当館
11	山水図	深山台州	江戸時代 18 世紀	1 幅	当館
12	梅花に月図	横山致堂	江戸時代 1833 (天保4) 年	1 幅	当館
13	竹図画賛	青山淇水画・横山致堂賛	江戸時代 1828 (文政11) 年	1 幅	当館
14	菊図自画賛	吉田袖蘭	江戸時代 19 世紀	1 幅	当館
15	鏝絵梅に鶴図	堀越左源次	江戸時代 18～19 世紀	1 幅	当館
16	鶴図画賛	村東旭画 西南宮鶏馬・鶴廼屋乎佐丸賛	江戸時代 19 世紀	1 幅	当館
17	雁図自画賛	島林甫立	江戸～明治時代 19～20 世紀	1 幅	当館
18	孔子図画賛	六代梅田九栄画・高田方水賛	江戸時代 1786 (天明6) 年頃	1 幅	当館
19	布袋図自画賛	河合見風	江戸時代 18 世紀	1 幅	当館
20	達磨図自画賛	大観文殊	江戸時代 18～19 世紀	1 幅	当館
21	福祿寿図自画賛	無学愚禅	江戸時代 18～19 世紀	1 幅	当館
22	楠三代図	長連栄	江戸時代 19 世紀	1 幅	当館
23	「子々孫々代々昌」一行書	仏海天龍	江戸時代 18～19 世紀	1 幅	当館
24	「道義」二大字書	前田直方	江戸時代 18～19 世紀	1 幅	当館
25	三行書「五言律詩」	浅野屋秋台	江戸時代 1811 (文化8) 年	1 幅	当館
26	朗詠詩歌	山本源右衛門 (基庸)	江戸時代 1715 (正徳5) 年	1 卷	当館
27	鈍豆形筆入	武田友月	江戸時代 19 世紀	1 合	個人
28～38	矢立		江戸時代 17～19 世紀	11 本	個人
39～40	印籠		江戸時代 18～19 世紀	2 個	個人
41～43	煙草入		江戸時代 18～19 世紀	3 個	個人
44～68	根付		江戸～明治時代 19 世紀	25 個	個人

企画展

「れきはくコレクション 2016」

当館では、年度ごとに収集した資料をお披露目する展覧会を開催しています。本展では、平成 28 年度に新たに収集した資料を紹介しました。



チラシ

- 会 期 平成 29 年 2 月 11 日 (土・祝) ～3 月 20 日 (月・祝)
会期中無休
- 時 間 9 : 00～17 : 00 (展示室への入室は 16 : 30 まで)
- 会 場 特別展示室
- 展示解説 日 時 : 平成 29 年 3 月 4 日 (土) 13:30～14:30
講 師 : 当館学芸員
参加者 : 18 名



展示風景



展示風景



展示解説

スポット展示

「加賀象嵌の美」

- 会 期 : 平成 28 年 12 月 10 日 (土) ～平成 29 年 1 月 15 日 (日)
- 時 間 : 9 : 00～17 : 00 (展示室への入室は 16 : 30 まで)
- 会 場 : 特別展示室

展示資料 : 桜花に流水図象嵌鏡 江戸 (18～19 世紀) 勝尾永次作 本館蔵
桜牡丹文花瓶 明治 (19 世紀) 本館蔵

2. 調査研究活動

(1) 研究紀要の発行

石川県立歴史博物館紀要 第26号(平成29年3月31日発行)

- 【論 文】 真宗の文芸世界と絵馬文化 戸潤 幹夫
糞尿と餅一金沢における下肥利用の変容一 大門 哲
- 【研究ノート】 金沢市・祇陀寺蔵(旧白山本宮伝来)の仏涅槃図について 北 春千代
- 【特集：堅田館の復元研究】
堅田館の建築復元一中世住宅建築研究の一課題として一
富島 義幸(京都大学大学院工学研究科准教授)
堅田館跡の発掘調査と武士館の復元 向井 裕知(金沢市文化財保護課主査)
堅田館の復元模型について 塩崎 久代

(2) 石川の歴史遺産セミナー

博物館活動の充実を図るため、県内外の研究機関並びに研究者の協力を得ながら、当地の新しい歴史像の創造に寄与できる歴史的課題に取り組み、公立博物館としての専門性と情報発信機能を強化するとともに、地域の人々が身近な地域遺産に学び、自発的で豊かな文化活動が展開できるよう文化力向上を図る。

平成28年度

第25回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「金沢であえて『工芸』を問う」

平成28年8月6日(土)13:00~17:00 (於:当館ワークショップルーム) 参加者64人

趣旨説明 金沢美術工芸大学 森 仁史 氏

講師紹介と導入 金沢星稜大学経済学部教授 本康 宏史 氏

「ジャパン九谷への道程一江戸末期から明治期の地域様相一」

小松市ふるさと共創部はつらつ学習課参事 坂下 雅子 氏

「絢爛たる近代日本陶磁の造形一『超絶技巧』と『グロテスク』の求めた世界一」

学習院大学文学部教授 荒川 正明 氏

「歴史都市京都のイメージと美術工芸」

京都大学人文科学研究所教授 高木 博志 氏

第26回石川の歴史遺産セミナー

テーマ「『金沢城下図屏風』を読み直す」

平成28年10月16日(日)13:00~17:00 (於:当館ワークショップルーム) 参加者70人

「『金沢城下図屏風』と描かれた金沢」

当館学芸主幹 北 春千代

「『城下町金沢の暮らしと町並み模型』の制作」

金沢工業大学 環境・建築学部 准教授 山崎 幹泰 氏

「描かれた城下町の社会を読む」

東京大学名誉教授 吉田 伸之 氏

(3) 国際交流事業

韓国国立全州博物館との交流

大韓民国国立全州博物館と当館が平成3年1月15日に締結した姉妹館協約に基づき、両館の学術的、文化的交流と親善、ならびに環日本海文化の共同研究を目的として交流員を相互派遣し、交流記念展についての打ち合わせや、専門分野に関連した文化施設、史跡などの視察を行った。

【学芸員の交流】

平成28年度

石川県立歴史博物館 学芸員 岡崎 道子を全州博物館に派遣

派遣期間：平成 29 年 2 月 22 日（水）～2 月 28 日（火）

韓国国立全州博物館 学芸研究士 白恩卿 来県

受入期間：平成 28 年 10 月 28 日（金）～11 月 2 日（水）

3. 資料収集保管活動

(1) 収集資料一覧

平成 28 年度

寄贈資料

	分類	資料名	点数	年代
1	歴史資料	金沢城兼六園図屏風	1	昭和 12 年（1937）
2	歴史資料	祭礼図絵巻	1	昭和期
3	歴史資料	大村欣一氏刷物コレクション	46	江戸時代
4	歴史資料	小倉学関係資料	一括	明治～昭和期
5	歴史資料	金谷御殿御能御番組 壺	1	文化 4 年（1807）～
6	歴史資料	竹沢御殿御能御番組	1	文政 6 年（1823）～
7	歴史資料	御本腹ニ付御能御番組	1	弘化 2 年（1845）
8	歴史資料	宝生大夫勸進能番組	1	弘化 5 年（1848）～
9	歴史資料	十村富樫家資料	16	江戸～明治期
10	歴史資料	中原良三氏関係資料	124	昭和期
11	歴史資料	福田家戦争関係資料	66	明治後期～昭和前期
12	歴史資料	北前船模型	1	昭和 54 年（1979）
13	歴史資料	農業図絵自叙及び目録（後半部分）	1	享保 2 年（1717）
14	歴史資料	久保田米儒著『小学図画帖』	4	明治 24・26 年（1891・1893）
15	民俗資料	高砂文字入松竹鶴亀文様柄鏡	1	江戸後期
16	民俗資料	髪飾り	27	明治～昭和初期
17	民俗資料	手絡	23	明治後期
18	民俗資料	半衿	7	大正～昭和 10 年代
19	民俗資料	ケン	1	昭和 60 年頃製作
20	民俗資料	ツメキリ	1	平成 20 年頃まで使用
21	民俗資料	ス（イワノリ用）	4	昭和 60 年頃まで使用
22	民俗資料	ス（ワカメ用）	1	平成 26 年頃まで使用
23	民俗資料	ワラジ（ヨシ刈り用）	1	昭和 15 年頃製作

計 23 件 331 点

(2) 資料の保存

◆ガス燻蒸消毒／防虫処理作業

平成 18 年度から、通常のカス燻蒸を中止し、特殊テントの中に炭酸ガス（二酸化炭素＝CO₂）を 2～3 週間充填し、酸欠による窒息で殺虫を行う方式に改めた。これまで実施してきた館内定点モニタリングと清掃作業の成果により、人体や環境への影響が懸念される化学薬品への依存を最小限にとどめるものである。また、害虫の侵入しやすい経路に対して薬剤散布による予防や、館内定点モニタリングの継続・実施により、虫菌類被害の予防に努めている。なお平成 27 年度より能登高等学校柳田校舎内の体育館を外部収蔵庫とし、環境調査を行った。

(炭酸ガス殺虫)

① 作業概要

床面積 4m×4m に高さ 2m の 32 m²の容量を持つテントに炭酸ガス（CO₂）を充填し、殺虫処理を行う。

② 作業の実施

平成 28 年度は 3 回実施。一回当たりの作業時間は 2 週間、使用炭酸ガス量は 45kg。

(環境調査モニタリング)

① 本館

- ア. 実施場所 第1～3棟の収蔵室と展示室、および 正面受付と各棟出入口
- イ. 調査方法
- I. 害虫調査 調査区域に捕虫トラップを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
 - II. 菌類調査 エアーサンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は各室5ヶ所で円筒状サブロー寒天を床面にあてて採取。
 - III. 浮遊粒子調査 各室1～2ヶ所でバイオテストにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。
- ウ. 調査期間 平成28年度は年2回(6月24日、10月26日)実施
- エ. 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

② 柳田収蔵庫

- ア. 実施場所 体育館のみ
- イ. 調査方法
- I. 害虫調査 調査区域に捕虫トラップを設置し、2～3週間後に回収する。また、各室の埃を採取する。
 - II. 菌類調査 エアーサンプラーにより浮遊菌を採取。付着菌は10ヶ所で円筒状サブロー寒天を床面にあてて採取。
 - III. 浮遊粒子調査 2ヶ所でバイオテストにより空気を採取し、0.5及び5.0ミクロンの2粒子を測定する。
- ウ. 調査期間 平成28年度は年1回(6月24日)実施
- エ. 結果報告 翌月中に調査ごとの分析結果を書面で報告。年度全体の分析から翌年度の対策計画に反映させる。

(害虫など防除作業)

① 各棟進入経路への薬剤散布

- ア. 実施場所 各棟 出入口・非常口、渡り廊下出入口
- イ. 実施期間 平成28年4月～平成29年3月(計3回)
- ウ. 実施方法 低臭性殺虫乳剤をハンドスプレーにより噴霧。薬剤はジメチルー0(3-メチルー4-ニトロフェニル)、ホスホロチオエイト(低臭性 シントー スミチオン乳剤)

② 防塵用ソールマットの設置

- ア. 設置場所 特別収蔵庫、文献図書室、古文書室、第1収蔵庫、第2収蔵庫
- イ. 設置方法 各室入口に微粘着性ソールマット(30シート1綴り)を設置し、付着した埃や菌を吸着する。

(3) 館蔵資料分類表

(H29.3.31)

資料区分		収集年度	平成 27 年度末 資料総数	平成 28 年度 収集資料数	資料総数
美 術	購 入 寄 付		11,781	0 0	11,781
考 古	購 入 寄 付		5,921	0 0	5,921
歴 史	購 入 保管換 寄 付		72,941	0 0 265	73,206
民 俗	購 入 寄 付		28,280	0 66	28,346
自 然	購 入 寄 付		92	0 0	92
模 型	購 入 寄 付		212	52 (廃棄 40) 0	224
パ ネ ル	購 入 寄 付		187	0 (廃棄 187) 0	0
視 聴 覚 の 他	購 入 寄 付		10,152	12 (廃棄 15) 0	10,149
図 書	購 入 寄 付		2,092 56,718	0 1,452	2,092 58,170
合 計			188,376	1,847 (廃棄 242)	189,981

(4) 貸与資料一覧

貸 与 先	資 料 名	目 的	期 間
石川四高記念文化交流館	四高関係資料 115 点	石川四高記念文化交流館で展示するため。	H28.4.1～H29.3.31
珠洲市立珠洲焼資料館	カメワリ坂窯陶片 4 箱	珠洲市立珠洲焼資料館で展示するため。	H28.4.1～H29.3.31
能美市立博物館	馬の線刻のある壘 1 点	常設展示「土の中からのメッセージ」に展示するため。	H28.4.1～H29.3.31
(株)NHK プロモーション	大坂之陣図屏風 1 点	東京都江戸東京博物館・上田市立美術館特別展「真田丸」に展示するため。	H28.4.13～H28.8.29
前田土佐守家資料館	兼六園・巽御殿絵巻 2 点	企画展「12代加賀藩主前田斉広股肱の臣 前田直時」に展示するため。	H28.4.15～H28.7.15
前田土佐守家資料館	蒸気船之図ほか 計 6 点	企画展「幕末維新期の前田土佐守家」に展示するため。	H28.7.1～H28.9.30
高岡市美術館	東寺百合文書桐箱シ函（複製） 1 点	企画展「美の記憶—よみがえる至宝たち—」に展示するため。	H28.9.5～H28.10.26
彦根城博物館	紫縮緬剣梅鉢紋陣幕ほか 計 4 点	企画展「参勤交代と彦根藩領」に展示するため。	H28.9.21～H28.10.31
小松市立博物館	加州金平鉾山図絵巻 1 点	特別展「小松の石と文化」に展示するため。	H28.9.21～H28.12.21
前田土佐守家資料館	加州金沢製糸場之図ほか 計 30 点	企画展「明治維新後 近代の前田土佐守家」に展示するため。	H28.9.23～H28.12.13
金沢くらしの博物館	黒獅子 1 点	特別展「金沢の獅子舞」に展示するため。	H28.12.14～H29.2.28
石川県立美術館	阿武松緑之助錦絵 1 点	企画展「絵画にみる江戸のくらし」に展示するため。	H28.12.19～H29.2.16
前田土佐守家資料館	娘諸芸出世双六 1 点	企画展「前田土佐守家の奥方」に展示するため。	H29.1.20～H29.4.17
(公財)藩老本多蔵品館	庄司角左衛門旗ほか 計 11 点	特別展「加賀本多家と家臣たち」に展示するため。	H29.3.10～H29.7.18
(公財)石川近代文学館	雑誌「少女の友」 28 点	企画展「乙女の文学展」に展示するため。	H29.3.24～H29.9.10
白山市立千代女の里俳句館	室町幕府奉行人連署奉書幅 1 点	特別展「西のぼるが描く白山物語」に展示するため。	H29.3.28～H29.8.8
白山市立千代女の里俳句館	加賀千代尼自画賛幅 2 点	特別展示「千代女四季の画賛」に展示するため。	H29.3.28～H29.8.8

合計 17 件 210 点

(5) 特別利用状況

種 別	点 数	
写真掲載・放映	126件	170点 (うち非館蔵品8件11点)
閲覧	6件	68点
撮影	36件	770点 (うち非館蔵品3件141点)

合計 168 件 1,008 点

4. 教育普及活動

(1) 一般広報

■新聞・広報誌・雑誌などへの掲載

新聞（一般記事・情報案内記事・県庁広報記事）
広報いしかわ、商工石川など県発行の広報誌
各種情報誌、タウン情報誌、歴史・美術系雑誌

■テレビ・ラジオでの広報

県広報番組、ニュース番組、情報番組

■マスコミへの情報提供

県庁文教記者クラブ加入の 17 社に随時情報を提供。
県内放送局及び新聞社に随時情報を提供。

■インターネットによる情報提供

当館ホームページで最新情報を公開
各種観光・イベント情報 Website への掲載

■広報誌「石川れきはく」の発行（年 4 回）

県内教育委員会、県内図書館・公民館・博物館その他公共施設、れきはくメイト会員

■「れきはくメイト情報」の発行（年 5～7 回）

れきはくメイト会員への各種案内

■ポスター、チラシの配布

北陸 3 県及び岐阜県の教育委員会・小中学校
県内図書館・公民館・博物館その他公共施設、宿泊関係施設、県内商店街、県内市町観光関係所管課、石川県内のローソン・イオン 他

■学校向けちらしの作成・配布

石川県立美術館と共同でチラシを作成し、北陸 3 県の小中学校等に配布

■新聞広告

(2) 出版

■機関誌「石川れきはく」 規格：A4 頁数：6ページ 発行部数：2,100 部

平成 28 年度は No.117～120 を発行し、関係機関やれきはくメイト（友の会）等に配布した。



117 号



118 号



119 号



120 号

(3) 案内解説・レファレンス

①団体への案内解説

案内解説を希望する団体へは、見学前に解説員が館概要と見どころを説明している（予約制）。個人に対しては音声ガイド*（無料）を勧めている。音声ガイドの案内がある資料の付近に番号が示してあり、番号のボタンを押して解説を聞くシステムとなっている。

専門的な内容の案内、および学術関係の問い合わせには学芸員が対応している。学校団体入館者は、展示室を班別行動で見学することが多いため、展示室で利用できるワークシート「いしかわれきはくガイド」を配布し、多くの児童生徒に活用されている。ホームページでも公開しており、ダウンロードも可能なので、事前に準備し児童生徒に持たせて来館する学校も増えてきている。

②外国人観覧者に対する解説

常設展示室のパネルの解説は、コーナー名称は 4 か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）で示しているが、コーナーの解説文・資料名は 2 か国語（日本語・英語）のみであるため、音声ガイドで外国人の観覧者への対応をしている。

*音声ガイド…4 か国語（日本語・英語・中国語・韓国語）対応、資料 60 点分の解説を収録

1 点あたり約 3 分、全 3 時間

(4) 講座

れきはくゼミナール

れきはくゼミナールを次のように開催した。

1. 定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 毎月1回 土曜日(全10回)
13:30~15:00
3. 受講料 無料
4. 会場 当館ワークショップルーム
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	5月7日	副葬品にみる加賀・能登の古墳時代	三浦 俊明	69名
2	6月18日	古典文学の工芸意匠 —源氏物語—	前田 武輝	18名
3	7月16日	海女文化とは何？ —舩倉島の歴史と暮らし—	大門 哲	17名
4	8月20日	蔵宿と米仲買—加賀藩士困窮—	濱岡 伸也	44名
5	9月10日	中世荘園の興亡 —加賀・能登の上賀茂神社領—	岡崎 道子	31名
6	10月15日	城下町金沢の娯楽と信仰	塩崎 久代	55名
7	11月19日	リニューアル秘話・神饌の再現 模型をつくる	大井 理恵	12名
8	12月17日	モダニズムと大衆文化	石田 健	23名
9	1月21日	前田家と茶の湯 ～藩祖利家から五代綱紀まで～	北 春千代	37名
10	2月18日	道君と伊羅都売 —加賀の立国に見える地方勢力—	永井 浩	46名



平成28年度 第1回れきはくゼミナール

県民大学校歴史講座 受講者数：28名

石川県の歴史と文化について、基礎的な理解を深める専門講座とした。

1. 対象・定員 どなたでも 50人まで
2. 開催期間 11月～2月の間に10回開催
水曜日 13:30~15:30
3. 参加費 3,000円(テキスト代を含む)
4. 会場 当館学習ホール
5. 講師 当館学芸員
6. 講座内容 別表のとおり

学芸員によるワンポイント解説

常設展のスポット解説を次のように開催した。

1. 対象・定員 どなたでも 定員なし
2. 開催期日 毎月1回 金曜日(全10回)
13:30~14:00
3. 受講料 常設展観覧料
4. 会場 当館常設展示室
5. 講師 当館学芸員
6. 内容 別表のとおり

No	開催日	テーマ	担当者	参加者
1	6月24日	林西寺所蔵の顕如書状について	塩崎 久代	24名
2	7月29日	高爪薬師と能登の山岳信仰	岡崎 道子	18名
3	8月26日	赤レンガ建物敷地内巡り	前田 武輝	10名
4	9月23日	能登の特殊神饌	大井 理恵	30名
5	10月21日	城下の祭礼	大門 哲	37名
6	11月25日	笈ヶ岳と白山修験	戸潤 幹夫	32名
7	12月23日	北前船、北へ!	濱岡 伸也	15名
8	1月27日	蝦夷穴古墳と古代の能登	三浦 俊明	14名
9	2月24日	戦後復興と成長の日々	石田 健	9名
10	3月24日	渤海使と古代の湊	永井 浩	32名



平成28年度 第1回学芸員によるワンポイント解説

No	開催日	テーマ	担当者
1	11月16日	石川の原始 —里山・里海の基層文化をさぐる—	戸潤 幹夫
2	11月23日	石川の古代Ⅰ	三浦 俊明
3	11月30日	石川の古代Ⅱ —日唐間のバイパスルート渤海路—	永井 浩
4	12月 7日	石川の中世	岡崎 道子
5	12月14日	石川の近世	濱岡 伸也
6	12月21日	石川の近現代	石田 健
7	1月11日	石川の近世絵画 —狩野派と岸派—	北 春千代
8	1月18日	石川のまつり	大門 哲
9	1月25日	加賀・能登の人生儀礼	大井 理恵
10	2月 1日	加賀・能登のことば	前田 武輝

古文書講座

古文書の読み方や内容を分かりやすく解説する講座を、前期と後期の2回実施した。

	開催日	テーマ	担当者
前期	6月23日	出羽国酒田湊の本間さま？ —北加賀廻船問屋奮闘記—	濱岡 伸也
	8月25日		
	9月29日		
後期	1月26日	武士の絵日記に親しむ —『流聞軒其方狂歌絵日記』の世界—	塩崎 久代
	2月23日		
	3月23日		



平成28年度 古文書講座（後期第1回）

（5） 博学連携事業

◆学習用資料貸出事業

学校や教育関係機関に当館所蔵のレプリカ資料を貸し出すことで、歴史をより身近なものに感じてもらう。

貸出先学校・施設	貸出期間	資料名（数量）
金沢市立千坂小学校	平成29年1月6日～20日	昔の道具 其の壺（一式）、其の式（一式）、其の四（一式）、其の五（一式） 計12点
金沢市立三和小学校	平成29年1月15日～21日	行灯（2点）、ランプ（2点）、裸電球（2点）、湯たんぼ（1点）、洗濯板（1点）、炭火式アイロン（1点）、火のし（1点） 計10点

◆職場体験事業受け入れ事業（H27年度）

職場体験（中学生）

学校名	期間	受入人数
金沢市立兼六中学校	6月21日（火）～23日（木）	4名
金沢市立清泉中学校	7月25日（月）～27日（水）	4名

インターンシップ

学校名	期間	参加者
金沢大学	9月1日（木）	5名
富山大学	9月1日（木）	1名
奈良女子大学	9月1日（木）	1名
同志社女子大学	9月1日（木）	1名



職場体験（兼六中学校）

◆教育センターとの連携事業

教職員初任者研修の一つとして、当館で講座を実施

講座名 ふるさと教育C

講師 当館学芸員

目的 石川の歴史を理解するとともに、ふるさと教育についての実践的指導力を育成する。

期日 平成28年10月20日（木）9:30～12:30

内容 講義 「博物館等における見学指導のあり方」

館内見学 「歴史から生まれる発見・新たな出会い学びの場」

参加者 19名

(6) ワークショップ (無料/一部を除いて事前申込制)

	実施日	テーマ	参加人数
1	平成 28 年 5 月 4 日 (木・祝)	卑弥呼の鏡を作ってみよう!	54 名
2	平成 28 年 7 月 28 日 (木)	器づくり体験	30 名
3	平成 28 年 8 月 9 日 (火)	九谷焼色付け体験	40 名
4	平成 28 年 8 月 16 日 (火)	紅茶教室—明治・大正・昭和 日本の紅茶をめぐる歴史物語—	19 名
5	平成 28 年 9 月 25 日 (日)	浄瑠璃人形 (でくまわし) をたのしもう!	60 名
6	平成 28 年 10 月 8 日 (土)	さるまわしがやってきた!	184 名
7	平成 28 年 10 月 29 日 (土)	歌舞伎ってなあに?	26 名
8	平成 28 年 1 月 29 日 (日)	金花糖の色付け体験	30 名

(7) 博物館実習

期 間

平成 28 年 8 月 1 日 (月) ~ 8 月 6 日 (土)

実習生

立教大学	文学部史学科	1 人
大谷大学	文学部歴史学科	1 人
日本大学	文理学部史学科	1 人
東洋大学	文学部東洋思想文化学科	1 人
筑波大学	人文・文化学群人文学類	1 人
京都女子大学	文学部史学科	1 人
龍谷大学	文学部歴史学科	1 人
金沢大学	人間社会学域人文学類	3 人
		合計 10 人



月日	時間	実習内容
8 月 1 日 (月)	9:00~ 9:10 9:10~ 9:30 9:40~10:40 10:50~12:00 13:00~16:00 16:10~17:00	開講式 オリエンテーション 歴史博物館の業務について 歴史博物館と各種法令について 施設案内 ミーティング
8 月 2 日 (火)	9:00~10:00 10:15~11:15 11:30~12:00 13:00~14:00 14:15~15:30 15:45~16:45 16:45~17:00	学芸課の業務 普及課の業務 学芸員の総務業務 資料課の業務 体験ひろば 体験と運営サポート フリートーク「博物館に対するイメージ」 ミーティング
8 月 3 日 (水)	9:00~ 9:30 9:45~10:15 10:30~12:00 13:00~16:45 16:45~17:00	博物館の IPM 画像の掲載・提供など利活用と問題点 寄贈資料の整理実習 寄贈資料の整理実習 ミーティング
8 月 4 日 (木)	9:00~12:00 13:00~14:45 15:00~16:45 16:45~17:00	資料の殺虫処理業務実習 収蔵庫の整理実習 収蔵庫の整理実習 ミーティング
8 月 5 日 (金)	9:00~12:00 13:00~14:45 15:00~16:45 16:45~17:00	資料の取り扱い・梱包実習 来館者 (利用者) 目線で施設調査 調査結果報告会 ミーティング
8 月 6 日 (土)	9:00~ 9:30 9:30~12:00 13:00~14:00 14:15~15:30 15:45~16:00	ミーティング 資料の取り扱い実習 (美術品) 石川県文化財保存修復工房 見学 石川県立美術館 施設見学 閉講式

(8) れきはくメイトの運営 平成 28 年度

会員年齢構成

年齢層	性別		合計	割合 (%)
	男	女		
~10 代	0	0	0	0
20 代	1	3	4	1.1
30 代	3	6	9	2.5
40 代	12	10	22	6.2
50 代	15	12	27	7.6
60 代	57	57	114	32.0
70 代	76	53	129	36.2
80 代	32	16	48	13.5
90 代~	1	1	2	0.6
不明	1	0	1	0.3
合計	198 人	158 人	356 人	100.0%

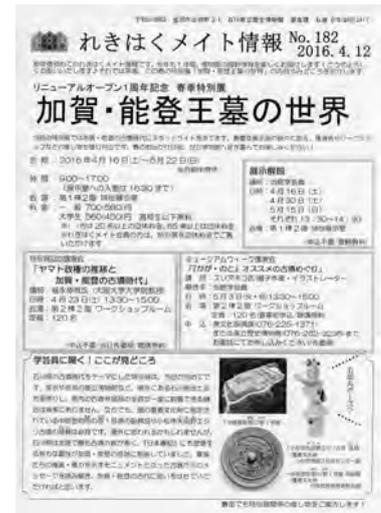
会員住居地区別構成

地区名	人数	地区名	人数	地区名	人数
(県内)		(県外)			
金 沢 市	255	七 尾 市	1	富 山 県	6
加 賀 市	2	中 能 登 町	2	東 京 都	1
小 松 市	12	能 登 町	4	福 島 県	1
白 山 市	29	輪 島 市	2	滋 賀 県	1
能 美 市	4	珠 洲 市	2	神 奈 川 県	1
野々市市	8	志 賀 町	1	愛 知 県	1
内 灘 町	6	穴 水 町	1	兵 庫 県	1
津 幡 町	6	川 北 町	0		
かほく市	6				
宝達志水町	0	小計(県内)	344	小計(県外)	12
羽 咋 市	3			総 計	356

平成 28 年度

号数	発行日	主な内容
182号	4月12日	春季特別展「加賀・能登王墓の世界」・催し物案内
183号	6月7日	夏のバスツアー・古墳ウォーク「能美古墳群を歩く」報告
184号	7月20日	夏季特別展「セラミックス・ジャパン」・夏のバスツアー報告
185号	9月15日	秋季特別展「城下町金沢は大にぎわい」・秋の歴史散歩
186号	9月30日	秋のバスツアー・いしかわ県民大
187号	12月1日	企画展「モダン金沢と大衆文化」・秋の歴史散歩報告・バスツアー報告
188号	2月9日	企画展「れきはくコレクション」・「村松コレクションの書と絵画」・れきはくメイト会員募集

メイト情報 182



平成 28 年度

バスツアー・歴史散歩

☆歴史散歩
5月14日

「古墳ウォーク『能美古墳群を歩く』」

対 象：一般
担 当：当館学芸員
講 師：当館学芸員
参加料：無料
行 程：能美市立歴史民俗資料館—和田山古墳群—秋常山古墳群

★バスツアー
7月6日

「氷見 HIMI 史跡・文化財めぐり」

対 象：れきはくメイト
担 当：当館学芸員
講 師：当館学芸員・氷見市立博物館学芸員・光禅寺住職・光久寺住職
参加料：7,000円（拝観料・交通傷害保険料・昼食費を含む。非会員は7,500円）
行 程：金沢—大栄寺—（阿尾城跡・唐島）—（昼食「ひみ番屋街」）—上日寺—光禅寺—光久寺茶庭—金沢

☆歴史散歩
10月26日

「城下町金沢のご開帳ツアー」

対 象：れきはくメイト
担 当：当館学芸員
講 師：当館学芸員・宇多須神社神主
参加料：500円（資料代）
行 程：宇多須神社—寿経寺—観音院

★バスツアー
11月10日

「湖東の文化財と名庭を訪ねて」

対 象：れきはくメイト
担 当：当館学芸員
講 師：当館学芸員・青岸寺住職・龍譚寺住職・彦根城博物館学芸員
参加料：9,500円（昼食費・拝観料・交通傷害保険料含む。非会員は10,000円）
行 程：金沢—青岸寺—龍譚寺—（昼食「レストランハイウェー」）—彦根城博物館・彦根城・玄宮園—金沢

(9) れきはくボランティア

市民の交流や協働、生涯学習の場として開かれた博物館を目指し、平成 18 年度よりボランティアを公募している。学校団体見学が増加する春季・秋季にそれぞれ募集し、「歴史体験ひろば」内で主に小・中学生を対象に解説、体験学習の補助を行ってきたが、国内外から訪れる一般観光客への案内も行っている。また、平成 27 年度夏季からは広報活動の補助も新たに加わった。

平成 28 年度 ボランティア活動

春季 活動期間：4 月 18 日（月）～6 月 17 日（金）

事前研修：4 月 11 日（月）

参加人数：12 人

秋季 活動期間：9 月 12 日（月）～11 月 18 日（日）

事前研修：9 月 9 日（金）

参加人数：12 人



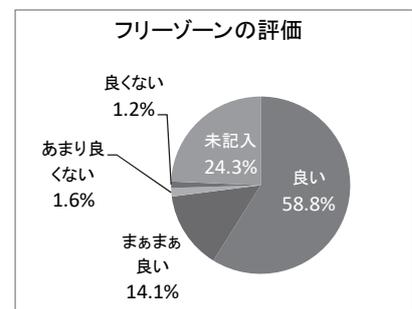
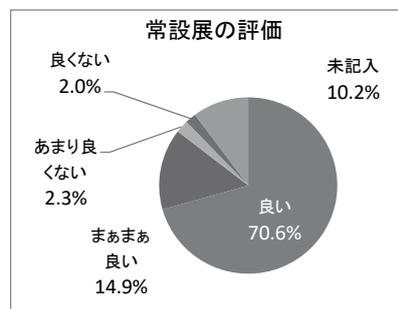
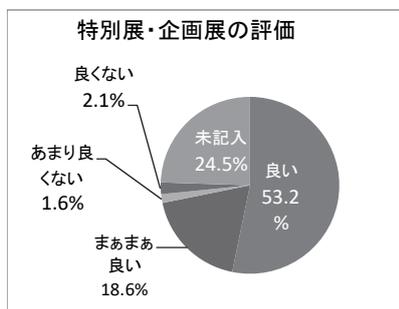
火縄銃について説明（歴史体験ひろば）

(10) 入館者調査

開館中にアンケート用紙に記入する方法で、一般個人有料入館者を対象に、「来館者調査」を実施した。アンケートでは、展覧会及び博物館全体の評価と来館者の情報を記入してもらった。評価は「良い」「まあまあ良い」「あまり良くない」「良くない」の 4 段と自由記述で行った。

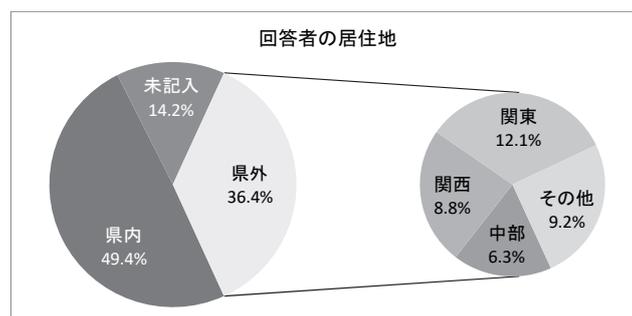
特別展・企画展の開催期間中は、「特別展または企画展の評価」と「常設展の評価」、常設展のみの期間は「常設展の評価」と「博物館全体の評価」を回答してもらった。来館者の情報としては、性別、年齢、住居地、来館回数、来館手段、情報の入手手段を回答してもらった。下記はアンケート結果をまとめた一部である。

特別展の評価	良い	まあまあ良い	あまり良くない	良くない	未記入	回答数 (%)
春季特別展	29 59.2%	12 24.5%	1 2.05%	1 2.05%	6 12.2%	49 100.0%
夏季特別展	14 45.2%	4 12.9%	1 3.2%	0 0.0%	12 38.7%	31 100.0%
秋季特別展	31 58.5%	13 24.5%	1 1.9%	3 5.7%	5 9.4%	53 100.0%
モダン金沢と大衆文化	8 53.3%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 33.4%	15 100.0%
れきはくコレクション 2016	9 45.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 45.0%	20 100.0%
村松コレクションの書と絵画	9 45.0%	2 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 45.0%	20 100.0%
計 (%)	100 53.2%	35 18.6%	3 1.6%	4 2.1%	46 24.5%	188 100.0%
常設展の評価	180 70.6%	38 14.9%	6 2.3%	5 2.0%	26 10.2%	255 100.0%
フリーゾーンの評価	150 58.8%	36 14.1%	4 1.6%	3 1.2%	62 24.3%	255 100.0%



回答者の居住地

県内	118	49.4%
県外	87	36.4%
未記入	34	14.2%
中部	15	6.3%
関西	21	8.8%
関東	29	12.1%
その他	22	9.2%
計	239	100.0%



5. 入館者状況

(1) 平成28年度 いしかわ赤レンガミュージアム（歴史博物館・加賀本多博物館）入館者状況

歴史博物館

(単位：人)

	有 料			無 料			小 計	合 計 (カウンター数)			
	常 設 展			特別展	計	常設展			特別展	計	
	歴博単独券	本多共通券	計								
4月	1,175	872	2,047	春	738	2,785	2,550	1,907	4,457	7,242	14,182
5月	1,624	1,146	2,770		1,557	4,327	4,655	3,334	7,989	12,316	17,237
6月	1,203	949	2,152	夏	0	2,152	1,560	0	1,560	3,712	15,405
7月	1,379	1,139	2,518		286	2,804	1,538	487	2,025	4,829	12,767
8月	1,458	1,600	3,058	秋	1,230	4,288	3,130	1,405	4,535	8,823	15,747
9月	1,307	1,198	2,505		930	3,435	3,085	2,126	5,211	8,646	14,539
10月	1,989	985	2,974	秋	2,114	5,088	8,191	6,199	14,390	19,478	23,428
11月	1,301	1,220	2,521		571	3,092	2,574	824	3,398	6,490	15,335
12月	889	600	1,489		0	1,489	1,356	0	1,356	2,845	8,997
1月	684	581	1,265		0	1,265	549	0	549	1,814	7,427
2月	712	650	1,362		0	1,362	849	0	849	2,211	8,423
3月	929	1,165	2,094		0	2,094	918	0	918	3,012	11,110
年計	14,650	12,105	26,755		7,426	34,181	30,955	16,282	47,237	81,418	164,597

歴史博物館 特別展のみ入場内訳

(単位：人)

特別展名	有 料	無 料	特別展計
春季特別展	2,295	5,241	7,536
夏季特別展	1,516	1,892	3,408
秋季特別展	3,615	9,149	12,764
計	7,426	16,282	23,708

(2) 小・中・高等学校地区別入館者数

※個人を含む

地区	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		計		入館者の割合 %
	校	人	校	人	校	人	校	人	校	人	
加賀地区 (野々市市・白山市以南)	69	3,579	8	634	0	13	1	15	78	4,241	25
金沢	36	2,892	10	594	6	377	6	47	58	3,910	23
能登地区 (河北郡以北)	26	1,462	6	244	0	15	2	36	34	1,757	10
富山県	59	3,776	26	1,879	0	31	3	54	88	5,740	33
福井県	0	20	9	371	1	39	0	0	10	430	2
その他	3	621	3	208	1	301	0	0	7	1,130	7
合 計	193	12,350	62	3,930	8	776	12	152	275	17,208	100

Ⅱ. 施設概要

1. 設備概要

- 受変電設備
受電電圧 6.6kV
変圧器容量 800kVA

- 発電機設備
ディーゼル機関 1800min⁻¹
発電機 300kVA 3相交流

- 蓄電池設備
ベント型効率放電用ペースト式
据置型鉛蓄電池 H-200A 54セル

- 動力設備
動力設備 648kVA
(一般 311kVA [エレベータ含] 24h 負荷 215kVA 防災負荷 122kVA)

- 電灯設備
照明器具 352台
(展示室内照度最高 150Lx 執務室内照度最高 750Lx)

- 照明設備
展示室内 LED、執務室・バックヤード[※] 高効率型蛍光灯・一般型蛍光灯

- 構内交換設備
192回線
(局線 1回線/INS1回線/多機能 28回線/内線 21回線)

- 放送設備
防災アンプ 480W / 3棟用アンプ 30W

- I T V設備
ネットワークカメラ 屋内 40台
モニター32型

- テレビ視聴
アンテナ UHF・20EL

- 来客カウンター設備
カウンター 8回線 / 3棟用 4回線
センサー 1棟4箇所 / 2棟1箇所 / 3棟1箇所 (本多蔵品館1箇所)

- 自動火災報知設備
GR型受信機 (アナログ式、自動試験機能)
表示監視 OA卓 19型 TFT カラー

- 給水設備
便所の便器洗浄系統……市水直結方式
手洗い・飲料系統……加圧給水方式

- 給湯設備
電気温水器による局所方式

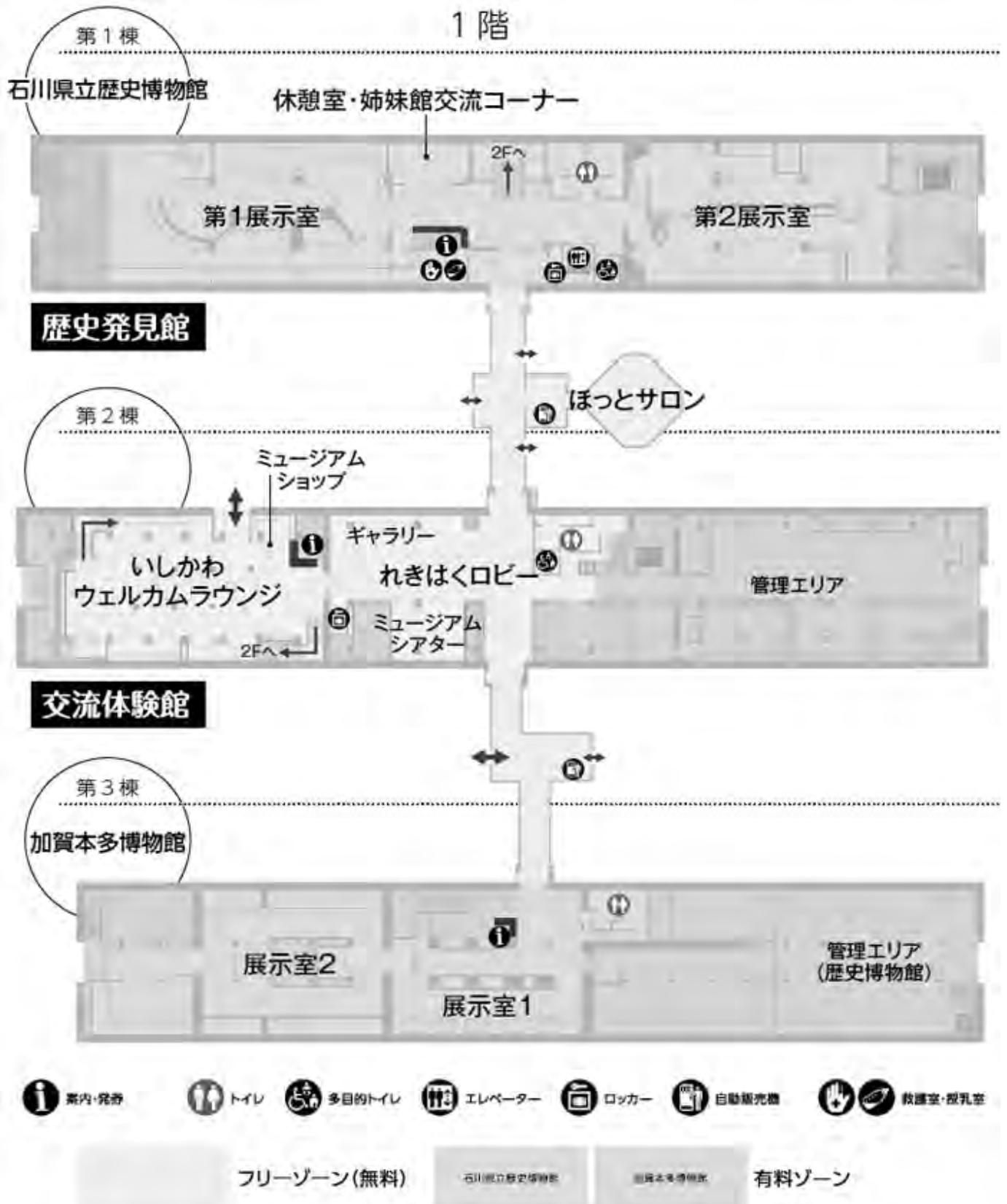
●排水設備	建物内分流方式、公共下水道放流
●消火設備	屋内消火栓……第一棟、第二棟 ハロゲン消火……第二棟の特別収蔵室、古文書室 スプリンクラー……第三棟
●排煙設備	機械排煙……第一棟、第二棟、第三棟（3系統）
●融雪設備	井水散水方式、電熱線方式
●昇降機設備	第一棟……機械室レス、身障者用、13人乗り 第一棟、第二棟……油圧式、荷物・身障者併用、2.1t（2基） 第三棟……小型機械室レス、4人乗り
●空調設備	保存空調条件 A ランク収蔵 ・収蔵庫 21±1℃ RH60±5% ・企画展示室、特別展示室 21±1℃ RH60±5% 空調方式 A ランク保存展示系統 ・変風量単一ダクト方式 ・第1棟……企画展示室、特別展示室 ・第2棟……収蔵庫 ・第3棟……収蔵庫 一般系統 ・第1棟……ファンコイル外気処理併用方式 ・第2棟……ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式 ・第3棟……ファンコイル外気処理併用方式・変風量単一ダクト方式 ・渡り廊下（ほっとサロンを含む） 空冷ヒートポンプ、ベリメーター電気ヒーター、床暖房併用方式 熱源 ・A ランク保存展示系統（冷水+温水・・・蓄冷+蓄暖） 水冷モジュールチラー264KW×2モジュール 無圧温水ヒーター116KW×2モジュール 都市ガス仕様 冷水槽 56m ³ ・温水槽 84m ³ ・一般系統（冷温水・・・密閉） 冷温水発生機 150RT（50×3）527KW 都市ガス仕様 ・一般系統（空冷ヒートポンプエアコン） 空冷ビル用マルチエアコン 冷房能力 165KW/暖房能力 183KW 空冷パッケージエアコン 冷房能力 10KW/暖房能力 11.2KW

2. 各棟面積一覽

管轄	部門	階別	展示室		収蔵スペース		共用区分		機械室分		計	
			室名	面積 (㎡)	室名	面積 (㎡)	室名	面積 (㎡)	室名	面積 (㎡)	階別 (㎡)	延べ (㎡)
歴博	第一棟	1階	常設展示室1	396.19	第一倉庫	13.12	ほっとサロン	86.00	空調機械室1	34.92	1,478.38	2,765.66
			常設展示室2	364.21			渡り廊下1	76.07	空調機械室2	50.35		
							ホール	121.69	ファンルーム	11.47		
			計	760.40	計	13.12	計	591.46	計	113.40		
		2階	企画展示室	274.42	第二倉庫	13.12	ホール	135.64	空調機械室3	37.23	1,287.28	
			企画展示室準備室	114.20	第三倉庫	17.85	その他	162.28	チャンパールーム1	5.95		
			特別展示室	409.63	第四倉庫	6.01			チャンパールーム2	2.99		
			特別展示準備室	44.53	第五倉庫	17.62			チャンパールーム3	4.17		
	控室		19.16	機材倉庫	19.71			チャンパールーム4	2.78			
	計		861.94	計	74.30	計	297.92	計	53.12			
	第二棟	1階	ISHIKAWA ウエルカムラウンジ	310.29	倉庫A(1F)	18.04	渡り廊下2	100.42	中央機械室	199.58	1,416.93	
			れきはくロビー (うちミニギャラリー)	250.57 (76.22)	倉庫B(1F)	7.50	館長室	51.88	受変電室	45.97		
			(うちガイドンスシアター)	(45.77)	倉庫C(1F)	6.50	副館長室	28.51	発電気室	39.32		
					倉庫D(1F)	1.62	事務室	51.20	ハロンボンベ室	14.47		
						警備室	17.46	消火ポンプ室	9.97			
						その他	250.15	EV機械室	13.48			
計			560.86	計	33.66	計	499.62	計	322.79			
2階		歴史体験広場 (多目的ホール)	171.20	特別収蔵室	160.39	研究室	115.47	ファンルーム	13.31	1,305.02		
		情報コーナー	93.96	古文書室	54.46	閲覧室	19.40					
		ワークショップスペース	146.81	文献図書室	49.02	解説員室	56.23					
				フィルム保管室	29.71	ボランティア室	18.37					
				倉庫A(2F)	21.78	その他	319.26					
				倉庫B(2F)	21.74							
		計	411.97	計	351.01	計	528.73	計	13.31			
第三棟		1階			第1収蔵室	152.34	その他	39.40	機械室1	52.66	581.74	
				第2収蔵室(1階)	270.57			機械室2	55.14			
	2階							スプリンクラーポンプ室	11.63			
		計	0.00	計	422.91	計	39.40	計	119.43			
本多 蔵品館	第三棟	1階	本多蔵品館展示室1	266.57			その他	60.55		661.23		
			本多蔵品館展示室2	334.11								
			計	600.68	計	0.00	計	60.55	計		0.00	
	2階	準備室	90.23	本多蔵品館収蔵室	153.93	事務室	28.52			436.09		
						会議室	78.18					
計	90.23	計	153.93	計	191.93	計	0.00					
ポンプ室	1階					7.50						
合計			展示合計	3,286.08	収蔵合計	1,577.99	供用合計	2,209.62	機械合計	622.05	7,703.23	

敷地面積	28,727.44 ㎡
------	-------------

3. 館内平面図



2階

第1棟

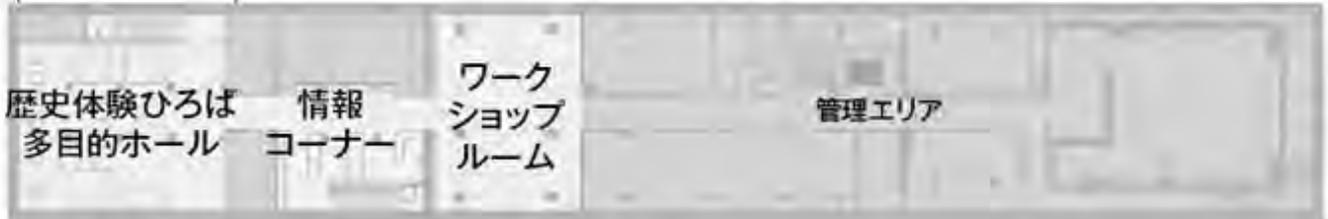
石川県立歴史博物館



歴史発見館

休憩室

第2棟



交流体験館

第3棟

加賀本多博物館



-  案内・発券
-  トイレ
-  多目的トイレ
-  エレベーター
-  ロッカー
-  自動販売機
-  救護室・授乳室

フリーゾーン(無料)

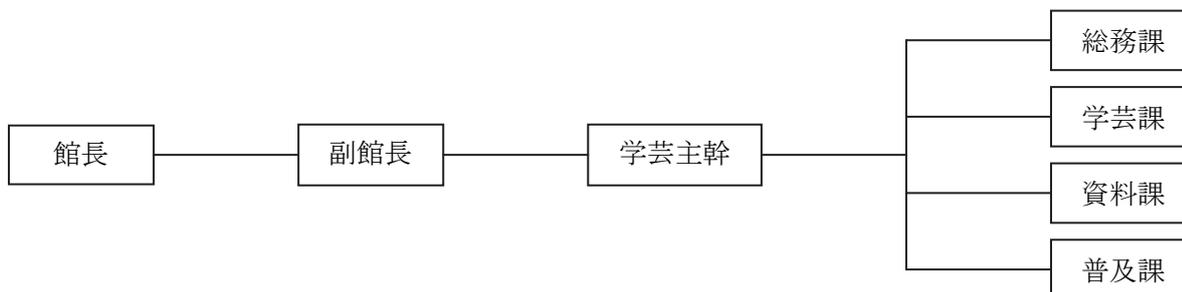
石川県立歴史博物館

加賀本多博物館

有料ゾーン

Ⅲ. 組織と運営

1. 職員組織



2. 職員名簿

平成28年度（平成28年4月1日現在）

館長（非常勤嘱託） 藤井 讓治
 副館長（〃） 森田美恵子
 学芸主幹（〃）（技術） 北 春千代
 学芸主幹（再）（技術） 戸潤 幹夫

学芸課
 課長（技術）（併） 大門 哲
 （本務 教育委員会兼白山ろく民俗資料館）
 学芸主任（〃） 三浦 俊明
 学芸主任（〃） 大井 理恵
 非常勤嘱託 坂井 詩織

普及課
 学芸主幹兼課長（技術） 前田 武輝
 担当課長（〃）（併）
 （本務 教育委員会） 永井 浩
 学芸主任（〃）（併）
 （本務 教育委員会） 塩崎 久代
 非常勤嘱託 山口 利恵

総務課
 課長（事務） 小原 卓
 担当課長（〃） 皆戸 靖彦
 企画管理専門員（再）（〃） 谷口 秀子
 業務主任（再）（技術）（兼美術館） 北 晃
 非常勤嘱託 徳田 絢香

資料課
 課長（技術） 濱岡 伸也
 学芸主任（〃）（併） 石田 健
 （本務 教育委員会兼石川四高記念文化交流館）
 学芸員 岡崎 道子
 非常勤嘱託 斉田はる子

3. 予算及び決算

※定数内職員費及び運営費（職員費）を除く。

（単位：千円）

事業名	平成28年度		
	当初予算額	最終予算額	決算額
運営費	71,538	70,874	70,792
案内解説事業費	19,654	19,617	19,617
展示費	34,561	33,888	33,729
調査普及費	17,708	16,361	16,182
整備費	1,600	1,600	1,570
国際交流費	144	144	112
石引分室管理事業費	836	836	727
米泉収蔵庫管理事業費	420	420	410
計	146,461	143,740	143,139

4. 事務分掌

平成 28 年度（平成 28 年 4 月 1 日現在）

総務課	学芸課
<ol style="list-style-type: none">1 課内事務の統括に関する事。2 出納事務に関する事。3 諸規定の運営に関する事。4 防犯及び防災計画に関する事。5 運営審議会の連絡調整に関する事。6 他の課に属しない事務に関する事。7 予算・決算に関する事。8 委託等契約事務に関する事。9 財産の維持及び管理に関する事。10 情報政策推進員業務に関する事。11 物品及び収入・支出経理に関する事。12 文書管理事務に関する事。13 公用車の運転及び整備に関する事。14 県庁、分室及び銀行、周辺文化施設等との事務連絡に関する事。15 職員の服務及び給与、旅費等に関する事。	<ol style="list-style-type: none">1 学芸活動の企画・調整に関する事。2 姉妹館との交流及び協力並びに展示・共同研究に関する事。3 常設展の調整・改善に関する事。4 特別展及び企画展の企画・調整に関する事。5 展示室の視聴覚機械の保守・管理に関する事。6 石川の歴史遺産セミナーに関する事。7 紀要の作成に関する事。8 貸館の企画・調整に関する事。9 寄贈図書等の受入・整理に関する事。10 文化財情報の収集・整理に関する事。11 その他学芸補助に関する事。
資料課	普及課
<ol style="list-style-type: none">1 資料の調査・受入に関する事。2 資料の保存・修理に関する事。3 資料の複製・模型に関する事。4 資料の貸与及び特別利用に関する事。5 借用資料のとりまとめに関する事。6 収蔵品の保全・管理に関する事。7 コレクション展に関する事。8 運営審議会・資料評価部会に関する事。9 博物館実習に関する事。	<ol style="list-style-type: none">1 普及事業の企画・調整に関する事。2 学校教育との連携に関する事。3 社会教育機関との連携に関する事。4 県民大学校に関する事。5 ホームページに関する事。6 広報活動の企画・実施に関する事。7 れきはくメイトに関する事。8 入館者の動向調査に関する事。9 ボランティアに関する事。10 年報・館利用案内・年間行事予定の発行に関する事。11 石川れきはく編集・発行に関する事。12 各種印刷物の発送に関する事。

この他、学芸関係職員はそれぞれの専門的分野を通して、関連業務および常設展、企画展、特別展等の企画、運営および特別展に関わる図録等の作成にあたることとする。

5. 各種委員会

(1) 運営審議会

石川県立歴史博物館運営審議会設置要綱

(目的)

第1条 石川県立歴史博物館（以下「博物館」という。）の円滑かつ適正な運営を図るため、石川県立歴史博物館運営審議会（以下「運営審議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 運営審議会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 博物館の運営に関すること。
- (2) 博物館長の諮問に対する答申。
- (3) 博物館長に対する意見具申に関すること。
- (4) 博物館が取得しようとする資料の学問的及び価格に関すること。
- (5) その他、特に必要と認められること。

(組織)

第3条 運営審議会は、20名以内の委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会との協議を経て、知事が委嘱する。

- (1) 社会教育関係者
- (2) 学校教育関係者
- (3) 学識経験者

3 委員は、互選によって会長及び副会長を定める。

4 会長は、議長となり会議を主宰し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、副会長がその職務を行う。

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 運営審議会の会議は、会長が召集する。

2 運営審議会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

(専門部会)

第6条 運営審議会には、博物館が取得しようとする資料の学問的評価及び価格（以下「資料の評価等」という。）に関し審議する専門部会（以下「資料評価専門部会」という。）を置く。

2 資料評価専門部会に関する必要な事項は、別に定める。

(事務局)

第7条 運営審議会の事務局は、博物館において処理する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、運営審議会の運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この要綱は、平成8年4月1日から施行する。

会議

<第1回> 平成28年11月17日（木）

会場 本館ワークショップルーム

- 議事 (1) 平成28年度の事業執行状況について
(2) 平成29年度事業計画について

<第2回> 平成29年3月16日（木）

会場 本館ワークショップルーム

- 議事 (1) 平成28年度の事業執行状況について
(2) 平成29年度事業計画及び予算について

委員名簿（13名）

（平成28年7月1日現在）

氏名	役職	委員の構成	備考
東四柳 史 明	金沢学院大学名誉教授	学識経験者	資料評価専門部会会員
谷内尾 晋 司	石川考古学研究会顧問	〃	資料評価専門部会会員
東 澄 子	元石川県立美術館学芸主幹	〃	資料評価専門部会会員
太 田 昌 子	金沢美術工芸大学名誉教授	〃	
笠 井 純 一	金沢大学名誉教授	〃	
高 屋 喜久子	元金沢学院大学美術文化学部情報デザイン科教授	〃	
小 林 忠 雄	加能民俗の会会長	〃	資料評価専門部会会員
木 越 隆 三	金沢城調査研究所長	〃	資料評価専門部会会員
野 口 弘	金沢市教育長	〃	
能木場 由紀子	石川県婦人団体協議会会長	社会教育関係者	
坂 根 順 子	石川県小学校長会（金沢市立千坂小学校長）	学校教育関係者	
越 中 修	石川県中学校長会（かほく市立高松中学校長）	〃	
藤 井 直 樹	石川県高等学校長会（県立金沢二水高等学校長）	〃	

6. 入場料について

(1) 入場料の徴収（常設展）

入場料の徴収区分（歴史博物館）〔常設展〕（平成 27 年 4 月 17 日より）

区 分	一般（18 歳以上の者）	300 円（240 円）
	大学の学生及びこれに準ずる者	240 円（190 円）

※（ ）は 20 人以上の団体料金

- ・・・18 歳未満は高校生でなくても無料である。
- ・・・大学生、短大生、専門学校生など学校教育法に基づく許可を受けている学校の学生。
(年齢不問ただし証明するものがあること)

(2) 入場料の減免基準

項 目 (減免基準)	特別展	常設展
小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の者が教育課程に基づく教育活動として入場するとき	児童又は生徒 引率者	場合による 無料
県内に居住する生活保護法に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている者	無料	無料
身体障害者手帳又は療育手帳又は精神保健福祉手帳を所持する者	無料	無料
上記1付添者（手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員）	無料	無料
社会福祉施設（石川県社会福祉協議会に加入している施設）	祝 日 その他	無料 団体料金
上記1付添者（手帳所持者1人につき1名、団体の付添者は全員）	無料	無料
65歳以上の者	祝 日 その他	無料 団体料金
入館を予定する学校団体の教師（下見）	無料	無料
幼稚園、保育園等の団体の引率者	無料	無料
石川県博物館協議会会員証及び日本博物館協会会員証を所持する者（提示者本人と同伴者1人の計2名まで）	無料	無料
歴史博物館れきはくメイト会員証を所持する者	団体料金	無料
石川県立美術館、石川県立輪島漆芸美術館、石川県七尾美術館、珠洲市珠洲焼資料館友の会会員証を所持する者	団体料金	団体料金
金沢コンベンションビューロー指定の大会等に参加し、指定の半券を提示する者（提示者本人と同伴者1名の計2名まで）	団体料金	団体料金
兼六園・文化施設共通利用券（兼六園プラス1:1館のみ）を所持する者（利用券提示段階では徴収なし） 個人500円、団体（30名以上）400円で販売	団体料金	無料
KGGN（金沢グッドウイールガイドネットワーク）の身分証明書を所持する者	無料	無料
タクシー、観光バスの運転手、乗務員、添乗員及びボランティアガイド「まいどさん」で客と同行して入場する者（通訳を含む）	無料	無料
かなざわ冬の旅観光キャンペーン参加者	団体料金	団体料金
「ほっと石川観光倶楽部」の会員証を提示する者及び同伴者全員	団体料金	団体料金
金沢市文化施設共通鑑賞券を所持する者	団体料金	団体料金
ボーイスカウト、少年スポーツ団体、学童保育機関等の引率者及び付添者（事前に申し出た場合に限る）	無料	無料
石川県職員互助会発行の県立美術館・歴史博物館共通利用補助券を所持する者（共通券提出段階で常設展は徴収なし、特別展は差額徴収）	団体料金から 300円引き	無料
石川県教職員互助会の発行する石川県立歴史博物館利用券（特別展名入り）を所持する者（利用券提出段階で当該特別展の団体料金を徴収）	団体料金から 400円引き	団体料金から 40円引き
金沢・加賀ぐるりんパス〔JR西日本〕を所持する者（ぐるりんパス及びかえり券の提示段階では徴収なし）	団体料金	無料
金沢・加賀百万石パスポート〔トップツアー〕を所持する者（パスポート提示段階では徴収なし）大人2000円で販売	団体料金	無料
県・金沢市文化施設共通鑑賞パスポート（文化得とくパスポート）＜700円＞	通常料金	無料
学パス（学生のまちパスポート） 提示	通常料金	無料
IJSPパス 提示	通常料金	無料
いしかわ観光旅パスポート、ひやくまんさんおもてなし手帖 提示	通常料金	団体料金
県政メルマガ	団体料金	団体料金
プレミアムパスポート	通常料金	通常料金
JAPAN TENT	無料	無料
県美、成巽閣チケット持参	通常料金	通常料金
金沢周遊バス乗車券	団体料金	団体料金
いしかわ観光特使、かなざわ縁のひと	無料	無料
IRいしかわ鉄道(株)ICOCA所有者	通常料金	団体料金
いしかわ文化の日（10月第3日曜日）	団体料金	無料
金沢マラソン「応援&グルメガイド」提示（同伴者全員が対象）	団体料金	団体料金
その他の理由により必要と認められる者	無料または 団体料金	無料または 団体料金

IV. 関係条例・規則

1. 学校以外の教育機関等設置に関する条例 (昭和32年3月27日条例第14号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条第1項、図書館法(昭和25年法律第118号)第10条、博物館法(昭和26年法律第285号)第18条及び地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第30条の規定により、県に学校以外の教育機関等及びその他の施設を設置する。

(名称、位置及び事業内容)

第2条 前条の教育機関等の名称、位置及び事業内容は、

次のとおりとする。

名称	位置	事業内容
石川県立歴史博物館	金沢市	歴史民俗文化財の収集、保管及び展示並びに歴史民俗文化財に関する調査研究及び指導に関すること。

備考 石川県立歴史博物館の設置は、昭和61年3月22日条例第24号の改正による。

2. 石川県立歴史博物館管理規則 (平成8年4月1日石川県規則第27号)

(趣旨)

第1条 この規則は、学校以外の教育機関等設置に関する条例(昭和32年石川県条例第14号)第11条の規定により、石川県立歴史博物館(以下「歴史博物館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 歴史博物館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、展示室への入室は、午後4時30分までとする。

(休館日)

第3条 歴史博物館の休館日は、次のとおりとする。

- 1月1日から同月3日まで及び12月29日から同月31日まで
- 資料の展示替え又は整理の期間

(開館時間の変更等)

第4条 前2条の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、臨時に開館時間を変更し、又は休館することができる。

2 前項の規定により開館時間を変更し、又は休館する場合は、その旨を歴史博物館の入口その他見やすい場所に掲示するものとする。

(入館の制限)

第5条 石川県立歴史博物館長(以下「館長」という。)は、次の各号の1に該当する者に対しては、歴史博物館への入館を拒否することができる。

- 他の入館者に迷惑を及ぼすおそれがある者
- 他の入館者に危害を加え、又は歴史博物館の設備、器具若しくは展示品を損傷するおそれがある物品又は動物を携帯する者
- 前2号に掲げる者のほか、歴史博物館の管理上支障があると認められる行為をするおそれがある者

(入館者の遵守事項等)

第6条 歴史博物館の入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- 展示品に触れないこと(特に指定した展示品を除く。)
- 展示品の近くでインキ、墨汁等を使用しないこと。
- 館長の許可を受けずに、展示品の撮影、模写等

をしないこと。

- 館長の指定する場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
 - 寄附金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと。
 - 他の入館者に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。
 - 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項
- 2 館長は、入館者が前項の規定に違反したときは、その者に退去を命じ、又は必要な措置をとることができる。

(特別利用の許可等)

第7条 歴史博物館が所蔵する資料(以下「所蔵品」という。)の閲覧、模写、模造、撮影又は写真原板使用等(以下これらを「特別利用」という。)をしようとする者は、別記様式第1号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第1号は省略

- 前項の場合において、所蔵品でないもの又は他に著作権があるものについては、それぞれ当該所有者又は著作権者の同意を得た書面を添付しなければならない。
- 館長は、第1項の許可に歴史博物館の管理上必要な条件を付すことができる。
- 館長は、第1項の許可を受けた者が前項の規定により付された許可の条件に違反した場合には、当該許可を取り消し、又は当該許可に係る特別利用を停止させることができる。

(施設の使用許可)

第8条 歴史博物館の施設(特別展示室、企画展示室及びギャラリーに限る。)を使用しようとする者は、使用しようとする日の1年前から1月前までに別記様式第2号による申請書を館長に提出し、その許可を受けなければならない。ただし、館長が特別の事情があると認めるときは、この期間によらないことができる。

※別記様式第2号は省略

- 前項の許可は、館長が歴史博物館の事業活動に支障がないと認める場合にするものとする。
- 前条第3項の規定は、第1項の許可に準用する。

(施設使用の制限)

第9条 館長は、前条第1項本文の規定による申請が次のいずれかに該当する場合には、同項の許可をしないことができる。

- (1) 館内の秩序又は風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
- (2) 営利のみを目的とするおそれがあると認められるとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、歴史博物館の管理上支障があると認められるとき。

(施設使用の変更)

第10条 第8条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)が当該許可に係る事項の変更をしようとするときは、別記様式第3号による申請書に同項の許可に係る許可書を添えて館長に提出し、その許可を受けなければならない。

※別記様式第3号は省略

(使用者の使用取消し)

第11条 使用者が施設の使用を取り消すときは、別記様式第4号による届出書に第8条第1項の許可に係る許可書を添えて、速やかに、館長に提出しなければならない。この場合において、前条の規定による変更の許可を受けていた場合は、当該変更に係る許可書を添えてしなければならない。

※別記様式第4号は省略

(使用権の譲渡等の禁止)

第12条 使用者は、使用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(施設の変更の禁止)

第13条 使用者は、施設に変更を加え、又は特別の設備を設けてはならない。ただし、あらかじめ、館長の承認を受けたときは、この限りでない。

(使用者の遵守事項)

第14条 使用者は、前2条に規定するもののほか、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 許可を受けた目的外に使用しないこと。
- (2) 使用許可を受けた施設(以下「使用許可施設」という。)以外の施設に立ち入らないこと。
- (3) 館長の許可を受けずに寄附金の募集、物品の販売、広告物の配布、立看板の掲示その他これらに類する行為をしないこと(第三者をして行わせる場合を含む。)
- (4) 第5条各号のいずれかに該当する者に対しては、使用許可施設への入場を拒否すること。
- (5) 使用許可施設の入場者に第6条第1項各号に掲げる事項を守らせ、及び当該事項を守らない者があるときは、その者を退場させ、又は必要な措置を講ずること。
- (6) 火災、盗難、人身事故その他の事故防止に努めること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、館長の指示した事項

(施設使用許可の取消し)

第15条 使用者が次のいずれかに該当する場合には、館長は、第8条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 虚偽の申請により許可を受けたことが判明したとき。
- (2) 第8条第3項において準用する第7条第3項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 第9条各号のいずれかに該当すると認められたとき。
- (4) 第10条から前条までの規定に違反したとき。

(館長の指示等)

第16条 館長は、歴史博物館の秩序の維持及び施設の管理上必要があると認めるときは、使用者に対し、施設の使用に関して指示をし、又は職員を使用中の施設に立ち入らせその使用状況を調査させることができる。

(原状回復)

第17条 使用者は、施設の使用を終了したときは、その使用に係る施設を直ちに原状に回復し、館長に届け出てその点検を受けなければならない。第15条の規定により使用の許可を取り消されたときも同様とする。

(施設使用終了の報告)

第18条 使用者は、施設の使用を終了したときは、速やかに、別記様式第5号による報告書を館長に提出しなければならない。

※別記様式第5号は省略

(損害賠償)

第19条 館長は、歴史博物館の施設、設備、展示品等を故意又は過失によりき損又は滅失した者に対して、その損害を賠償させることができる。

(所蔵品の貸出し)

第20条 館長は、所蔵品を他の博物館又はこれに準ずるものに貸し出すことができる。公益事業の用に供するときも同様とする。

2 館長は、前項の規定により所蔵品の貸出しを行う場合において、当該所蔵品が文化財保護法(昭和25年法律第214号)又は石川県文化財保護条例(昭和32年石川県条例第41号)の規定による指定を受けた文化財であるときは、教育委員会教育長の承認を受けなければならない。

(資料の受託)

第21条 館長は、資料の保管の委託を受けるときは、知事の承認を受けなければならない。

(雑則)

第22条 この規則に定めるもののほか、歴史博物館の管理運営について必要な事項は、別に定める。

附則

この規則は、公布の日から施行する。

附則(平成18年6月30日規則第43号)

この規則は、公布の日から施行する。

附則(平成27年3月31日規則第16号)

この規則は、平成27年4月17日から施行する。

3. 石川県立歴史博物館使用料条例 (昭和61年3月22日条例第26号)

(趣旨)

第1条 この条例は、石川県立歴史博物館（以下「歴史博物館」という。）の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(使用料)

第2条 この条例において「使用料」とは、入場料及び施設使用料をいう。

(入場料)

第3条 知事は、展示資料を観覧するため歴史博物館へ入館する者から入場料を徴収する。

2 入場料の額は、別表第1のとおりとする。

(施設使用料)

第4条 知事は、歴史博物館の施設の使用の許可を受けた者（別表第2において「使用者」という。）から施設使用料を徴収する。

2 施設使用料の額は、別表第2のとおりとする。

(使用料の納付等)

第5条 使用料は、前納しなければならない。ただし、知事は、相当の理由があると認めるときは、使用料の全部又は一部を後納させることができる。

2 既納の使用料は、返還しない。ただし、知事が返還することを相当と認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

3 知事は、特に必要があると認めるときは、使用料を減免することができる。

(規則への委任)

第6条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附則

1 この条例は、規則で定める日から施行する。ただし、附則第2項の規定は昭和61年4月1日から施行する。（昭和61年10月規則第43号で、同61年10月25日から施行）

2 石川県立郷土資料館入場料条例（昭和43年石川県条例第38号）は、廃止する。

附則（平成元年3月24日条例第5号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成元年4月1日から施行する。（後略）

附則（平成18年6月30日条例第29号）

この条例は、公布の日から施行する。

附則（平成27年3月23日条例第7号）

この条例は、平成27年4月17日から施行する。

別表第1（第3条関係）

1 常設展示を観覧する場合

区 分	単 位	金 額	
		個人	団体 (20人以上)
一 般 (18歳以上の者)	1人につき	300円	240円
大学の学生及び これに準ずる者	1人につき	240円	190円

2 特別展示を観覧する場合

1,500円の範囲内で知事がその都度定める額

別表第2（第4条関係）

1 使用者が観覧料、入場料その他これらに類する料金（次項において「料金」という。）を徴収しない場合

区 分	単 位	施設使用料の額
特別展示室	1日につき	18,920円

2 使用者が料金を徴収する場合

前項の施設使用料の額に100分の130を乗じて得た額

3 企画展示室に係る使用料の額については、第2項の施設使用料の例により知事がその都度定める。

備考

1 「1日」とは、午前9時から午後5時までをいう。
2 使用時間が1日の時間に満たない場合の施設使用料の額は、当該1日の施設使用料の額とする。

4. 石川県立歴史博物館使用料条例施行規則 (昭和61年10月14日 規則第44号)

(趣旨)

第1条 この規則は、石川県立歴史博物館使用料条例（昭和61年石川県条例第26号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入場券)

第2条 条例第3条第1項の規定により入場料を徴収したとき（前納したときに限る。）は、当該被徴収者に別記様式第1号に規定する入場券を交付するものとする。

(使用料の後納)

第3条 条例第5条第1項ただし書の規定により使用料を後納させることができる場合は、次のとおりとする。

- 旅行業法（昭和27年法律第239号）第3条の規定による登録を受けた者との入場に係る契約に基づき入場させるとき。
- その他石川県立歴史博物館長（以下「館長」とい

う。）が特別の理由により必要と認めるとき。

(使用料の返還)

第4条 条例第5条第2項ただし書の規定により使用料を返還することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

- 管理上の必要により、施設の使用の許可を取り消したとき。施設使用料の全額
 - 施設の使用許可を受けた者が使用開始前10日までに使用の取消しを届け出たとき。施設使用料の100分の60に相当する額
 - その他館長が特別の理由により必要と認めるとき。入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額
- 2 前項の規定により使用料の返還を受けようとする者は、別記様式第2号に規定する使用料返還請求書に入

場料の返還の場合にあつては、入場券を添えて、館長に提出しなければならない。

(使用料の減免)

第5条 条例第5条第3項の規定により使用料を減免することができる場合及びその割合は、次のとおりとする。

- (1) 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の児童又は生徒の引率者が教育課程に基づく教育活動として入場するとき。 使用料の全額
- (2) 生活保護法（昭和25年法律第144号）に基づく生活扶助又は教育扶助を受けている者で県内に居住する者が入場するとき。 使用料の全額
- (3) その他館長が特別の理由により必要と認めたとき。 入場料又は施設使用料のうち館長が相当と認める額

2 前項の規定により入場料の減免を受けようとする者の取扱いについては、館長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和61年10月25日から施行する。

附 則（平成元年3月31日規則第25号）

この規則は、平成元年4月1日から施行する。

附 則（平成7年3月28日規則第33号）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

附 則（平成11年3月31日規則第35号）

1 この規則は、公布の日から施行する。

2 この規則による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき作成した用紙は、なお当分の間、所要の調整をして使用することができる。

附 則（平成18年6月30日規則第41号）

この規則は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月30日規則第22号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月25日規則第9号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

V. 日記（抄）

平成 28（2016）年 4 月 1 日～平成 29（2017）年 3 月 31 日

平成28年(2016)年

- 4月11日 春季ボランティア研修会
4月14日 休館（～4月15日まで）
4月16日 春季特別展「加賀・能登王墓の世界」開催（4月16日～5月22日まで）
4月16日 春季特別展 展示解説①
4月23日 特別展記念講演会「ヤマト政権の推移と加賀・能登の古墳時代」
（講師：福永伸哉 氏）
4月29日 兼六園周辺文化の森 春のミュージアムウィーク(MW)開始(5月5日まで)
MWれきはくスペシャルデー「久保田雅人 工作ショウ」
昔の乗り物体験
赤レンガ建物周辺ガイドツアー
4月30日 春季特別展 展示解説②
5月 3日 MW講演会『『かが・のと』オススメの古墳めぐり』（講師：スゾアキコ 氏）
5月 4日 ワークショップ「卑弥呼の鏡を作ってみよう！」
5月 7日 れきはくゼミナール①「副葬品にみる加賀・能登の古墳時代」
5月14日 れきはくメイト歴史散歩「古墳ウォーク」
5月15日 春季特別展 展示解説③
5月23日 休館（～5月24日まで）
6月 5日 館長講座「織田信長の時代と加賀・能登」
6月18日 れきはくゼミナール②「古典文学の工芸意匠・源氏物語」
6月21日 職場体験受け入れ（金沢市立兼六中学校 23日まで）
6月23日 古文書講座前期①「出羽国酒田湊の本間さま？-北加賀廻船問屋奮闘記-」
6月24日 学芸員によるワンポイント解説①「林西寺所蔵の顕如書状について」
7月16日 れきはくゼミナール③「海人文化とは何？-舩倉島の歴史と暮らし-」
7月21日 休館（～7月22日）
7月23日 夏季特別展セラミックスジャパン
-陶磁器でたどる日本のモダン-開催（8月28日まで）
7月23日 夏季特別展 展示解説①
7月25日 職場体験受け入れ（金沢市立清泉中学校 27日まで）
7月28日 ワークショップ「器づくり体験」
7月29日 学芸員によるワンポイント解説②「高爪薬師と能登の山岳信仰」
7月30日 特別展記念講演会「デザインありてこそ-焼物から窯業へ」（講師：森仁史 氏）
8月 6日 石川の歴史遺産セミナー「金沢であえて『工芸』を問う」
（講師：森仁史 氏、本康宏史 氏、坂下雅子 氏、高木博志 氏、
荒川正明 氏）
8月 7日 夏季特別展 展示解説②
8月 9日 ワークショップ「九谷焼絵付け体験」
8月16日 ワークショップ「紅茶教室-明治・大正・昭和 日本の紅茶をめぐる歴史物語-」
8月20日 れきはくゼミナール④「蔵宿と米仲買-加賀藩士困窮」
8月25日 古文書講座前期②「出羽国酒田湊の本間さま？-北加賀廻船問屋奮闘記-」
8月26日 学芸員によるワンポイント解説③「赤レンガ建物敷地内巡り」
8月27日 夏季特別展 展示解説③
8月29日 休館（～8月31日まで）
9月 9日 秋季ボランティア研修
9月10日 れきはくゼミナール⑤「中世荘園の興亡-加賀・能登の上賀茂神社領-」
9月17日 秋季特別展「城下町金沢は大にぎわい！」開催（11月6日まで）
9月18日 特別展記念講演会①「金沢の開帳」（講師：宇佐美孝 氏）
9月23日 学芸員によるワンポイント解説④「能登の特殊神饌」
9月24日 秋季特別展 展示解説①
9月25日 ワークショップ「浄瑠璃人形（でくまわし）をたのしもう！」
9月29日 古文書講座前期③「出羽国酒田湊の本間さま？-北加賀廻船問屋奮闘記-」
10月 8日 ワークショップ「さるまわしがやってきた！」
10月10日 特別展記念講演会②「城下町金沢のにぎわいと芸能興行」
（講師：塩川隆文 氏）



れきはくスペシャルデー
（昔の乗り物体験）



れきはくメイト歴史散歩
「古墳ウォーク」



職場体験（兼六中学校）



九谷焼色付け体験



学芸員によるワンポイント解説
（8月26日）

- 10月15日 れきはくゼミナール⑥「城下町金沢の娯楽と信仰」
 10月16日 石川の歴史遺産セミナー「『金沢城下図屏風』を読み直す」
 (講師:山崎幹康 氏、吉田伸之 氏、北春千代)
 兼六園周辺文化の森 秋のミュージアムウィーク(MW)開始(11月3日まで)
 10月21日 学芸員によるワンポイント解説⑤「城下の祭礼」
 10月25日 MWミニコンサート「伝統和楽器の響き」
 10月26日 れきはくメイト歴史散歩「城下町金沢のご開帳ツアー」
 10月29日 ワークショップ「歌舞伎ってなあに？」
 10月30日 秋季特別展 展示解説②
 11月 3日 MWスペシャル講演会「加賀の藩風を語る」(講師:磯田道史 氏)
 11月 7日 休館(～11月8日まで)
 11月10日 れきはくメイトバスツアー「湖東の文化財と名庭を訪ねて」
 11月16日 いしかわ県民大学校「歴史講座」①
 11月19日 れきはくゼミナール⑦「リニューアル秘話・神饌の再現模型をつくる」
 11月23日 いしかわ県民大学校「歴史講座」②
 11月25日 学芸員によるワンポイント解説⑥「笈ヶ岳と白山修験」
 11月30日 いしかわ県民大学校「歴史講座」③
 12月 3日 ふれてみるいしかわの文化展開催(12月3日～9日まで)
 12月 3日 ふれてみるいしかわの文化展「ミニ・コンサート」①
 12月 4日 ふれてみるいしかわの文化展「親子ふれあい彫刻ワークショップ」
 12月 7日 いしかわ県民大学校「歴史講座」④
 12月 9日 ふれてみるいしかわの文化展「ミニ・コンサート」②
 12月10日 冬の企画展「モダン金沢と民衆文化」開催(12月10日～1月15日まで)
 ミニコンサート(マリンバの響き)
 12月11日 冬の企画展 展示解説①
 12月14日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑤
 12月17日 れきはくゼミナール⑧「モダニズムと大衆文化」
 12月21日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑥
 12月23日 学芸員によるワンポイント解説⑦「北前船、北へ！」
 12月24日 ミニコンサート(バンドネオンの響き)
 12月28日 年末年始休館(1月3日まで)/消防訓練
 1月11日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑦
 1月14日 冬の企画展 展示解説②
 1月18日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑧
 1月21日 れきはくゼミナール⑨「前田家と茶の湯」
 1月25日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑨
 1月26日 古文書講座後期①
 「武士の絵日記に親しむ-『流聞軒其方狂歌絵日記』の世界-」
 1月27日 学芸員によるワンポイント解説⑧「蝦夷穴古墳と古代の能登」
 1月28日 兼六園周辺文化の森 冬のミュージアムウィーク(MW)開始(2月5日まで)
 1月29日 ワークショップ「金花糖の色付け体験」
 2月 1日 いしかわ県民大学校「歴史講座」⑩(全10回終了)
 2月 5日 館長講座「織田信長の時代と加賀・能登」
 2月 9日 休館(2月10日まで)
 2月11日 早春の企画展(3月20日まで)
 ミニコンサート(クラリネット&フルートデュオ)
 2月18日 れきはくゼミナール⑩
 「道君と伊羅都売-加賀の立地から見える地方勢力-」(全10回終了)
 2月23日 古文書講座後期②
 「武士の絵日記に親しむ-『流聞軒其方狂歌絵日記』の世界-」
 2月24日 学芸員によるワンポイント解説⑨「戦後復興と成長の日々」
 2月25日 ミニコンサート(サクソフォン四重奏)
 展示解説「村松コレクションの書と絵画」
 3月 4日 展示解説「れきはくコレクション2016」
 3月21日 休館(3月24日まで)
 3月23日 古文書講座後期③
 「武士の絵日記に親しむ-『流聞軒其方狂歌絵日記』の世界-」
 3月24日 学芸員によるワンポイント解説⑩「渤海使と古代の湊」(全10回終了)



ワークショップ「浄瑠璃人形
(でくまわし)をたのしもう！」
(9月25日)



れきはくメイト秋のバスツアー



いしかわ県民大学校
「歴史講座」(第3回)



れきはくゼミナール(第8回)



古文書講座(1月26日)

VI. 各種様式

副館長	学芸主幹	総務課長	普及課長	受付

入 館 申 込 書

受 付 (Web申込) 年 月 日

フリガナ 団体名称			校種	
郵便番号 所在地	—			
電話番号	—	—	フリガナ 引率代表者 氏名	先生(様)
来館日時	年	月	日	曜日
	時	分	～	時
入館者内訳	一般 (内、65歳以上 短・大・各種学生 高校生 小・中学生 学年・クラス数	名 名) 名 名 名 年	料 金	一般 65歳以上 短・大・各種学生 その他 () 引率 有料・無料 有料・無料 有料・無料 有料・無料 有料・無料
入館方法			グループ数	グループ
バス来館	台			
雨天時対応 予備日	年	月	日	曜日
	時	分	～	時
体験ひろば 利用				
ワークショップ ルーム使用				
備 考				

* 注意事項 送付済み 未発送

当日記入欄	
-------	--

特別利用許可申請書（掲載）

年 月 日

石川県立歴史博物館
館長 藤井 譲治 様

所在地

申請者 名称及び代表者の氏名

㊞

電話番号

担当者名

下記の資料の掲載を許可して下さるよう申請します。

1、資料名

2、利用目的（掲載媒体と出版年月日も明記）

3、画像提供の要・不要

4、備考

掲載に際して

- ① 今回の申請の目的以外に使用しません。
- ② 石川県立歴史博物館所蔵であることを表示します。
- ③ 掲載物を1部石川県立歴史博物館に寄贈します。
- ④ その他、石川県立歴史博物館の指示に従います。

特別利用許可申請書（放映）

年 月 日

石川県立歴史博物館
館長 藤井 讓治 様

所在地

申請者 名称及び代表者の氏名

㊞

電話番号
担当者名

下記の資料の放映を許可して下さるよう申請します。

1、資料名

2、利用目的（放送局、番組名と放映年月日も明記）

3、画像提供の要・不要

4、備考

放映に際して

- ① 今回の申請の目的以外に使用しません。
- ② 石川県立歴史博物館所蔵であることを表示します。
- ③ その他、石川県立歴史博物館の指示に従います。

石川県立歴史博物館 年報
第19号 平成28年度版
平成30年4月15日発行

発行 石川県立歴史博物館
〒920-0963
石川県金沢市出羽町3番1号
TEL (076) 262-3236
印刷 前田印刷株式会社



石川県立歴史博物館